

指定管理者事業評価 年度評価の基準について

1 評価内容

市と指定管理者との間で締結している協定や仕様書等を遵守して、適正に施設の管理・運営を行っているかについて、下記の項目ごとに評価(判定)し、年度評価を行ってください。

評価区分	評価内容
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか。
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか。
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか。
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。。
	④ デジタル化への対応を行ったか。
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。
	④ 労働関係法令を遵守したか。

2 評価区分別の評価基準

(1) 判定基準

評価内容の判定に当たっては、下記評価基準表を参考にしてください。

区 分	評価内容	基準	判定	条件	備考
(1) 市民の視点 (50点)	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか。	10: 前年度利用者数120%以上 7: 前年度利用者数110～119% 5: 前年度利用者数90～109% 2: 前年度利用者数70～89% 1: 前年度利用者数69%以下	10	大きく増加した	自動判定 前年度利用者数と評価対象年度を比較
			7	増加した(平年並み)	
			5	概ね増減なし	
			2	減少した	
			1	大きく減少した	
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	所管課判断 ・3利用者ニーズへの取組みに記載されている意見及び対応状況 ・利用者意見を収集する姿勢が見られるか	10	利用者満足度が大きく向上している	
			7	利用者満足度が向上している	
			5	利用者ニーズへ適切に対応している	
			2	利用者満足度が向上していない	
			1	アンケート等利用者意見収集をしていない	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか。	所管課判断	10	適切に対応し規定や体制に迅速な改善を行い、大きな成果を得た	
			7	適切に対応し規定や体制に改善を行った	
			5	適切に対応した	
			2	不適切な対応があった	
			1	不適切な対応が複数あった	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか。	所管課判断	10	市民サービス向上に新たな取組みを実施し、大きな成果を得た	
			7	市民サービス向上に新たな取組みを実施した	
			5	計画通りに実施した/自主事業を行う施設ではない	
			2	計画していたものを実施していない	
			1	自主事業を実施していない	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか。	所管課判断	10	情報公開を適切に実施し、情報の開示を積極的に実施した	
			7	情報公開を適切に実施し、情報の開示を実施した	
			5	体制を整えている	
			2	体制に改善が必要	
			1	体制が整っていない	

(2) 財務の視点 (25点)	① 計画どおり収入が得られたか。	所管課判断 当該年度の年度計画書等と比較し判断 5:計画比 概ね120%以上 4:計画比 概ね110～119% 3:計画比 概ね90～109% 2:計画比 概ね70～89% 1:計画比 概ね69%以下	5	計画を大きく上回る収入を得られた	
			4	計画を上回る収入を得られた	
			3	計画どおりの収入を得られた	
			2	計画を下回った	
			1	計画を大きく下回った	
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか。	所管課判断	5	取組みにより明確で大きな効果があった	
			4	取組みにより効果があった	
			3	概ね期待通りの取組みがあった	
			2	取組みが消極的であった	
			1	取組みが見られなかった	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか。	所管課判断	5	取組みにより明確で大きな効果があった	
			4	取組みにより効果があった	
			3	概ね期待通りの取組みがあった	
			2	取組みが消極的であった	
			1	取組みが見られなかった	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	所管課判断	5	会計監査人による監査を受けている	自動化不可
			4	適切かつ明確に区分されている	
			3	適切かつ明確に区分されている/指定管理又は自主事業の一方のみ	
			2	経理区分が明確でない	
			1	経理区分が著しく明確でない	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	所管課判断	5	会計監査人による監査を受けている	自動化不可
			4	適正に管理されている	
			3	適正に管理されている/備品を持っていない	
			2	適正な管理がされていない	
			1	全く適正な管理がされていない	
(3) 業務の視点 (45点)	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	所管課判断	5	法令、水準書等の基準以上の取組みを実施し、大きな効果を得た	自動化不可
			4	法令、水準書等の基準以上の取組みを実施した	
			3	法令、水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	基準に満たなかった	
			1	著しく基準に満たなかった	
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の取組みを実施し、大きな効果を得た	自動化不可 研修例:コンプライアンス研修、救命救急講習、AED操作研修等業務に必要な研修。 ※法定研修(防火管理者、食品衛生管理者等)は除く。
			4	水準書等の基準以上の取組みを実施した	
			3	水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	水準書等の要求を満たしていない	
			1	著しく水準書等の要求を満たしていない	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の取組みを実施し、内容の充実も図られていた	自動化不可 毎月の業務報告書は翌月に、年度報告書及び自己評価調査は事業年度終了後、30日以内に提出することとなっています。報告内容も評価対象としてください。
			4	水準書等の基準以上の取組みを実施した	
			3	規定のとおり実施した	
			2	遅滞があった	
			1	遅滞があり、内容も乏しかった	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	所管課判断	5	新しい取組みを実施し大きな効果を得た	自動化不可
			4	新しい取組みを実施した	
			3	実施している	
			2	実施に消極的である	
			1	全く実施していない	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	所管課判断	5	改善指示はなく、運営状況は適切であった	自動化不可 管理運営改善状況等報告書の内容についても改善事項として考慮してください。
			4	改善指示に対し適切かつ発展的に対応した	
			3	改善指示に適切に対応した	
			2	改善指示への対応が不十分だった	
			1	改善指示への対応を怠った	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	所管課判断	5	効果的な訓練実施及びマニュアルの整備に加え、有資格者等の配置など体制の強化に努めた	自動化不可 訓練例:防災訓練、防犯訓練等
			4	効果的な訓練実施及びマニュアルが整備されている	
			3	訓練実施及びマニュアルが整備されている	
			2	訓練実施及びマニュアルの整備が不十分	
			1	訓練実施及びマニュアルの整備がされていない	

	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	所管課判断	5	運営状況が適切であるために事件・事故は発生しなかった	自動化不可
			4	事件・事故は発生しなかった	
			3	事件・事故に適切に対応した	
			2	事件・事故への対応が不十分だった	
			1	事件・事故への対応が著しく不十分だった	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	所管課判断	5	法令、水準書等の基準以上の取組を実施し、有資格者等の配置など体制の強化に努めた	自動化不可
			4	法令、水準書等の基準以上の取組を実施した	
			3	法令、水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	体制に不備がある	
			1	体制を整えていない	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	所管課判断	5	積極的に取組を行いサービス向上などの効果を得た	自動化不可
			4	積極的に取組を行いサービス向上などに努めた	
			3	適時取組を行っている	
			2	必要な取組みが不十分	
			1	必要な取組を行っていない	
(4) 人材の視点 (20点)	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	所管課判断	5	規定以上の職員配置に加え、有資格者等の配置など体制を強化している	自動化不可
			4	規定以上の職員を配置している	
			3	規定のとおり配置している	
			2	規定に達していない	
			1	規定に達しておらず、問題が生じた	
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の職員配置に加え、有資格者等の配置など体制を強化している	自動化不可
			4	水準書等の基準以上の職員を配置している	
			3	水準書等の基準のとおり配置している	
			2	水準書等の基準に達していない	
			1	水準書等の基準に達しておらず、問題が生じた	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	所管課判断	5	水準書等の基準以上の取組を実施し、効果を得た	自動化不可 研修例:接客(おもてなし)研修、英会話研修、チラシ・ポップ作成研修など。 ※法定研修は除く。
			4	水準書等の基準以上の取組を実施した	
			3	水準書等の基準に定めたとおり実施した	
			2	水準書等の要求を満たしていない	
			1	水準書等の基準に達しておらず、問題が生じた	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	所管課判断	5	基準以上の取組を実施し、効果を得た	自動化不可
			4	基準以上の取組を実施した	
			3	基準に定めたとおり実施した	
			2	基準を満たしていない	
			1	基準を満たしておらず、問題が生じた	

(2) 区分得点について

評価内容の判定結果の得点で決定します。

評価内容	得点
(1) 市民の視点	50点
(2) 財務の視点	25点
(3) 業務の視点	45点
(4) 人材の視点	20点
総合得点(合計)	140点

3 年度評価の基準

総合得点の結果に応じて、次の評価基準に従って年度評価を決定します。

年度評価	評価基準
S (極めて優良)	120点以上
A (優良)	110～119点
B+ (良好)	100～109点
B (要一部改善)	80～99点
B- (要改善)	70～79点
C (不良)	60～69点
D (極めて不良)	59点以下

※年度評価結果、改善指導方針については評価確定後、施設所管課より全指定管理者に周知・指導してください。

改善が必要な施設には速やかにその旨を指導し、改善を促すこととしてください。

中野市公の施設に係る指定管理者の令和5年度事業評価結果一覧

(令和6年3月31日現在)

施設状況			年度評価 結果 (7段階)	前年評価 結果 (「S,A,B,C」 4段階)
1	施設名	中野市福祉ふれあいセンター及び中野市さんさん館(計3施設)	B	B
	指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会		
	施設概要	ふれあいセンター(身体障害者福祉ふれあいセンター、母子通園訓練施設、共同作業訓練施設) ふれあいセンター永田分場(共同作業訓練施設) さんさん館(調理室実習室、研修室、身障者用トイレ)		
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な実施事業	ふれあいセンター 条例に定める事業(身体障害者福祉、母子通園、共同作業) さんさん館 施設の管理運営、維持管理及び保守管理		
	担当課	福祉課		
2	施設名	中野市精神障害者社会復帰施設(計2施設)	B	B
	指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会		
	施設概要	中野市りんごの木共同作業所(作業室、展示室、休憩室、食堂、事務室等) 中野市ぴあワーク就労支援施設(作業室、静養室、会議室、食堂、事務室等)		
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料(りんごの木)、利用料金制(ぴあワーク)		
	主な実施事業	条例に定める事業(生活訓練、作業訓練、就労指導)		
3	施設名	中野市子育て交流拠点施設	B	—
	指定管理者	合同会社WIP		
	施設概要	子育て支援センター、子育てサポートエリア、一時預かり室、多目的運動施設、野外運動場、駐車場、その他施設		
	指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な実施事業	管理運営事業、地域子育て支援拠点業務、一時預かり事業業務、子育てサポートエリア、自主事業		
4	施設名	中野市民プール	B	B-
	指定管理者	株式会社 日本水泳振興会		
	施設概要	管理棟、競泳プール、流水プール、幼児プール、スライダー		
	指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な実施事業	プール施設管理運営業務、指定管理者による自主事業(水泳教室などのイベント)		
5	施設名	中野市民体育館ほか体育施設(計15施設)	B-	B
	指定管理者	中野市体育協会		
	施設概要	中野市北公園、中野市民体育館、中野市コミュニティースポーツセンター、中野市営野球場、中野市営運動場、中野市武道館(柔剣道)、中野市営テニス場、中野市弓道場、中野市篠井川河川敷運動広場、中野市屋内運動場、中野市営豊田テニス場、中野市営豊田野球場、中野市営豊田マレットゴルフ場、中野市永田社会体育運動場、中野市B&G海洋センター		
	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業		
	担当課	文化スポーツ振興課		

施設状況			年度評価 結果 (7段階)	前年評価 結果 (「S,A,B,C」 4段階)
6	施設名	中野市多目的サッカー場	B	B
	指定管理者	中野市体育協会		
	施設概要	サッカーグラウンド、管理棟		
	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な 実施事業	サッカー場施設管理及び運営		
	担当課	文化スポーツ振興課		
7	施設名	中野市農村環境改善センター(帯の瀬ハイツ)	B	B+
	指定管理者	公益社団法人 中野広域シルバー人材センター		
	施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室、多目的ホール、事務室、農事相談室、健康相談室、浴室、管理人室、機械室、倉庫、トイレ		
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な 実施事業	各会議室、調理実習室、浴室等の貸館事業		
	担当課	農業振興課		
8	施設名	中野市豊田農産物加工施設	B	B-
	指定管理者	中野市豊田農産物加工施設利用組合		
	施設概要	加工室、研修室、材料搬入室、材料庫、熟成室		
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)		
	収入	利用料金		
	主な 実施事業	おやき、味噌、アップルパイ加工販売		
	担当課	地域振興課(令和5年度から農業振興課)		
9	施設名	中野市南永江地区地域交流センター	C	B-
	指定管理者	南永江自治会		
	施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室		
	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)		
	収入	利用料金		
	主な 実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業		
	担当課	地域振興課(令和5年度から農業振興課)		
10	施設名	中野陣屋・県庁記念館	B	B
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社		
	施設概要	展示室、コミュニティホール、土蔵、トイレ、談話室、事務室、倉庫、会議室、ギャラリー(画廊)、多目的ホール		
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な 実施事業	管理運営事業、自主事業(特別展、喫茶運営等)		
	担当課	商工観光課		
11	施設名	中野市観光会館・日本土人形資料館	B	B
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社		
	施設概要	展示室、茶室、会議室、事務室、体験室、トイレ、倉庫、外周の手すり及び回廊、前庭、駐車場		
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な 実施事業	施設の使用に関すること 自主事業に関すること(お土産販売事業、絵付け体験事業)		
	担当課	商工観光課		

施設状況			年度評価 結果 (7段階)	前年評価 結果 (「S,A,B,C」 4段階)
12	施設名	信州中野観光センター	B	B
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社		
	施設概要	ホール、事務室、トイレ、倉庫、駐車場		
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な 実施事業	施設の観覧に関すること 自主事業に関すること(アンテナショップ事業、売店事業、イベント事業)		
	担当課	商工観光課		
13	施設名	中野地域職業訓練センター	B	B
	指定管理者	職業訓練法人 中高職業訓練協会		
	施設概要	施設管理業務、自主事業(職業能力開発校ほか)		
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)		
	収入	利用料金		
	主な 実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業(職業能力開発校ほか)		
	担当課	商工観光課		
14	施設名	中野市まちなか交流の家	B+	B
	指定管理者	なつちよ合同会社		
	施設概要	体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、倉庫		
	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)		
	収入	指定管理料		
	主な 実施事業	施設の管理運営、土人形の絵付け指導、指定管理者による自主事業(施設内絵付け体験事業、出張絵付け体験事業、土人形制作販売及び付随品の販売、中野土人形販売)		
	担当課	商工観光課		
15	施設名	中野市関係人口創出拠点施設	A	B+
	指定管理者	㈱リープクリエイティブス		
	施設概要	交流スペース、コワーキングスペース・レンタルオフィス、多目的ルーム(宿泊、オフィス利用)		
	指定期間	令和3年10月1日～令和7年3月31日(3年6ヶ月間)		
	収入	指定管理料+利用料金		
	主な 実施事業	貸しスペース事業・飲食店運営事業、宿泊事業		
	担当課	商工観光課		
16	施設名	中野市豊田ふるさと交流館(道の駅)	B	B
	指定管理者	株式会社 斑尾		
	施設概要	道の駅・交流室・特産品販売コーナー・食堂・休憩コーナー・農産物直売所		
	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な 実施事業	食堂・特産品販売		
	担当課	地域振興課(令和5年度から商工観光課)		
17	施設名	中野市ふるさと交流拠点施設	B-	—
	指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社		
	施設概要	アリーナ、グラウンド、芝生広場、駐車場、トイレ棟、事務室		
	指定期間	令和5年10月1日～令和10年3月31日(4年6か月間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な 実施事業	利用許可、自主事業、管理運営事業		
	担当課	商工観光課		

施設状況			年度評価 結果 (7段階)	前年評価 結果 (「S,A,B,C」 4段階)
18	施設名	一本木公園ほか(計3施設)	B+	B
	指定管理者	一般社団法人 一本木公園バラの会		
	施設概要	一本木公園:多目的広場、修景広場、野外ステージ、遊戯広場、林間プロムナード、あずまや(全面積3.4ha) 一本木公園展示館 一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム		
	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料		
	主な 実施事業	施設及び設備の維持管理事業、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業		
	担当課	都市計画課		
19	施設名	北信濃ふるさとの森文化公園	B-	B
	指定管理者	株式会社 岩野商会		
	施設概要	温室・昆虫館、サマーボブスレー及び遊具等、マレットゴルフ場、オートキャンプ場、多目的グラウンド、デイキャンプ場、ハーブ園(全面積15.4ha)		
	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)		
	収入	指定管理料+利用料金制		
	主な 実施事業	施設及び設備の維持管理事業、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業		
	担当課	都市計画課		

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	健康福祉部 福祉課	評価対象年度	令和5年度		
施設名称	中野市福祉ふれあいセンター及び中野市さんさん館							
指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会		指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				
根拠法令	障害者総合支援法、児童福祉法							
設置条例	中野市福祉ふれあいセンター条例、中野市介護予防拠点施設条例							
施設設置目的	身体障がい者及び心身障がい者の福祉の増進を図る							
施設概要	事務室、作業室、保育室、相談室、会議室、訓練室他							
施設の主な実施事業	中野市福祉ふれあいセンター(身体障害者福祉センター、共同作業訓練施設【竹馬】、母子通園施設【いちご学園】) 中野市さんさん館(介護予防拠点施設)、中野市福祉ふれあいセンター永田分場(共同作業訓練施設【たんぽぽ】)							
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	別紙のとおり					0.0%		
						0.0%		
						0.0%		
						0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	46,885,000	市収入額		
	項 目	予算額			決算額			
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支	
		指定管理業務	52,436,190	52,439,000	△ 2,810	52,443,090	48,917,800	3,525,290
		自主事業	0	0	0	0	0	0
合 計	52,436,190	52,439,000	△ 2,810	52,443,090	48,917,800	3,525,290		
職員の配置状況	ふれあいセンター及びさんさん館(西条):所長1名(兼務)、所長代理1名(兼務)、指導員7名、保育士2名、看護師3名 永田分場たんぽぽ(永田):分場長1名(兼務)、指導員2名 合計14名(常勤11名、臨時3名)							
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年7月19日	二回目	年 月 日				

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
①母子通園施設の利用者減への対応について 利用者減の主な理由は卒園児数に対して入園児が少なかったためであるが、市の保健師、子育て支援センターなどと連携を密にし、対象者の受け入れを積極的に行う。	→	母子通園訓練施設「いちご学園」において、関係機関と情報交換を密に行い、スムーズに入園できるよう支援し、利用者の増加に繋がった。
②事業収入の当初予算に対する減少について分析と収入増に向けての研究 講座の先生と相談し、1回当たりの受講者の人数制限をして講座を開催したため予算より収入減となった。利用者アンケートを行い、ニーズのある講座を増やす。	→	予算を上回ることではできなかったが、利用者ニーズのある講座を行い、昨年度と比較すると収入増となった。
③安心・安全な環境確保について 施設内の感染対策を徹底し、受講生や利用者に安心して来ていただける環境づくりを行う。	→	新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、各講座については手指消毒やマスクを着用するなど感染対策を行った。
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 講師の指導が易しく丁寧にしていたので楽しく受けることができた。仲間もたくさんできてよかった。	→	今後も良い講師と社協のつながりを大切にし、継続していただくようにする。
【苦情・改善の要望】 他の施設で行っている講座と開催時期が重なるため、開催時期の検討をお願いしたい。	→	他の参加者などの意見を聞きながら検討していく。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	母子通園施設については、前年比49.1%増であり、また、他の施設についても概ね利用者が増えており、施設利用の広がりをみせている。	26.8
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり	多種多様な訓練を経験させることで、利用者の満足度向上を図った。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり		15.2
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		26.6
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり		
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり	市から依頼した、アンケートのデジタル化等について、未実施であった。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり	母子通園訓練施設「いちご学園」において、関係機関と情報交換を密に行い、スムーズに入園できるよう支援した。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり		
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(3)~(4)デジタル化への対応を行ったか。	市から依頼した、アンケートのデジタル化等について、未実施であるため、早急に改善を依頼する。また、他の業務についても、積極的にデジタル化を進めるよう指導する。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	26.8 (50)	○施設の管理運営にあたり、利用者ニーズを把握、効果的・効率的な事業運営、満足のいくサービスの提供に努めた。 ○貸館については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、受け入れ人数の制限を緩和したところコロナ禍前の状況が戻りはじめた。 ○共同作業訓練施設「竹馬」は、施設外就労の訓練として、キノコ工場へ出向き、筒かぶせの作業に取り組み、また、「ふれあい音楽祭」や「まるっとなかのフェス」等に参加し和太鼓の演奏を行い、販売については、春と秋に行われるさをり織り展に利用者と参加し販売を行うなど、就労の機会や訓練時間を増やす取り組みを行った。 ○共同作業訓練施設永田分場「たんぼぼ」は、社会復帰を目的に、施設外訓練として洗濯作業、公衆トイレ清掃などを行い、また、ラジオ体操・ストレッチのほか体力維持につながる歩行訓練などに取り組めた。 ○心身障がい児母子通園訓練施設「いちご学園」は、保育園との交流保育や、須坂市及び飯山市の母子通園施設と三園交流会を行った。また、関係機関と情報交換を密に行い、スムーズに入園できるようにし、保護者の困りごとを関係機関に繋ぎ支援した。
(2) 財務の視点	15.2 (25)	
(3) 業務の視点	26.6 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	LED化工事一式	1,120,900		施設内LED化のため
	宮太鼓両面革張替え4張	783,200		革部分老朽化のため
	小便器洗浄システム取替3か所	238,700		故障のため
	オイルタンク取替一式	217,800		消防法上200リットルより小さいものにするため
	非常用発電設備水漏れ修理	86,944		故障のため
	ガス給湯器交換一式	25,000		故障のため
	その他工事	473,379		ブラインド修理、ロールスクリーン修理他
	合 計	2,945,923	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		1,000,000		
差 額		1,945,923		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		903,000		
差 額		△ 903,000		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	協定書のとおり
--------------------------	---------

	利用区分等(単位)	令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	身体障害者福祉センター利用者数	9,335	9,111	102.5%
	共同作業訓練施設利用者数	2,274	2,369	96.0%
	母子通園訓練施設利用者数	595	399	149.1%
	中野市さんさん館利用者数	1,428	1,325	107.8%
	永田分場利用者数	546	538	101.5%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	14,178	13,742	103.2%
施設 使用 回数 (回)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用回数 合計	0	0	0.0%
施設 利用 料金 (円)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用料金 合計	0	0	0.0%

3 事業の実施状況

区 分	評価内容	身体障害者福祉センター	共同作業訓練施設	母子通園訓練施設	中野市さんさん館	永田分場											区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	5	10	5	5											26.8
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	7	5	5	5											
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	5	5	5	5											
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5	5	5	5	5											
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5	5	5	5	5											
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	3	3	3	3											15.2
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3	3	3	3											
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	3	3	3	3											
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3	3	3	3											
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	3	3	3	3	3											
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3	3	3	3											26.6
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3	3	3	3											
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3	3	3	3											
	④ デジタル化への対応を行ったか。	2	2	2	2	2											
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	3	4	3	3											
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3	3	3	3											
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	3	3	3	3	3											
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3	3	3	3	3											
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	4	3	3	4	3											
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3	3	3	3											12.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3	3	3	3											
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3	3	3	3	3											
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3	3	3	3											

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	健康福 祉部福祉課	評価対象年度	令和5年度	
施設名称	中野市精神障害者社会復帰施設						
指定管理者	社会福祉法人 中野市社会福祉協議会		指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)			
根拠法令	障害者総合支援法						
設置条例	中野市精神障害者社会復帰施設条例						
施設設置目的	精神障がい者の社会復帰の促進を図る						
施設概要	中野市りんごの木共同作業所(作業所、展示室、休養室、食堂、事務室等) 中野市びあワーク就労支援施設(作業室、静養室、会議室、食堂、事務室等)						
施設の主な実施事業	条例に定める事業(生活訓練、作業訓練、就労指導)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	別紙のとおり					0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	12,984,000	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	88,507,709	79,405,000	9,102,709	91,708,447	62,969,593	28,738,854
	自主事業	0	0	0	0	0	0
合 計	88,507,709	79,405,000	9,102,709	91,708,447	62,969,593	28,738,854	
職員の配置状況	りんごの木(南宮): 所長(兼務)1名、所長代理(兼務)1名、指導員3名 計(実人員)3名 びあワーク(三好町): 所長(兼務)、所長代理(兼務)1名、サービス管理責任者1名、職業指導員1名、生活支援員1名、目標工賃達成指導員1名、生活支援員兼調理員1名、目標工賃達成指導員兼事務職員1名 計(実人員)6名						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年9月26日	二回目	年 月 日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
①サービス向上について 継続的なアンケートの実施により、ニーズの把握を行いサービス向上に努める。	→	利用者ニーズの把握のため、継続的なアンケートを実施し、サービス向上に繋げた。 ・利用者アンケートによる利用満足度: 是非利用したい 71.4%、まあ利用したい 25.0%、 あまり利用したくない 3.6%
②広報・PRの充実について 社協のホームページ等を活用するとともに、市の保健師や相談機関と連携を密にし、ニーズの掘り起こしを行い利用者確保に努める。	→	関係機関との連携や作業の安定化、工賃向上の取り組みを行い、利用者の増加に繋げた。
③収入増に向けた取り組みについて 販売収入確保につながるイベント等への積極的な参加、新たな自主事業の検討等を含め収入増に努める。	→	新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで販売機会が増えたことから、自主製品のエコバックを作成し、市内観光施設や病院レストラン等に販売を委託、敬老会事業等の記念品に採用され売り上げを伸ばすことができた。
④安心・安全な環境確保について 施設内の感染対策を徹底し、安心して通所できる環境づくりを行う。	→	新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたが、手指消毒やマスクを配布するなど感染対策を行った。

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 昼食提供を引き続き行ってほしい。(びあワーク)	→	バランスの良い食事提供を継続実施。
【苦情・改善の要望】 ・ロッカールームの床のじゅうたんが古いので新しくしてほしい。(びあワーク) ・作業品目を増やしてほしい。(2施設共通)	→	じゅうたんからフロアマットに交換した。 社協内の施設と共同し、新しい自主製品作りに取り組んだ。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり		27.0
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり	りんごの木共同作業所では、自主製品(エコバック等)を作成し販売、敬老会事業等の記念品にも採用された。びあワーク就労支援施設では、社会生活訓練、昼食提供サービス、送迎サービスなど評価されている。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり		15.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		26
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり		
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり	市から依頼した、アンケートのデジタル化等について、未実施であった。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり		
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		
				50
				25
				45
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(3)~(4)デジタル化への対応を行ったか。	市から依頼した、アンケートのデジタル化等について、未実施であるため、早急に改善を依頼する。また、他の業務についても、積極的にデジタル化を進めるよう指導する。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	27.0 (50)	○ びあワーク就労支援施設では、7名の新規登録者あり、前年度比較で延べ345名を上回る利用状況となった。利用者の声に応え、ソーシャルスキルトレーニング(社会生活技能訓練:挨拶やコミュニケーションのとり方なども含)を強化実施し、利用者から高い評価を受けている。昼食提供サービス、送迎サービスが評価されており、特別支援学級からの実習希望も増えている。施設外就労先から作業の正確性が評価され、季節的から通年作業へ安定した作業量を確保、利用者工賃向上に繋がった。バランスの良い昼食提供、フードバンク事業を活用し利用者の負担軽減を図った。 ○ りんごの木共同作業所では、自主製品のエコバック等を作成し、新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い販売機会が増え、利用者の制作意欲に結びついた。市内観光施設や病院レストラン等に販売を委託、敬老会事業等の記念品に採用され売り上げを伸ばすことできた。 ○ 職員研修では、自立支援協議会の部会等への参加により資質向上に努めている。 ○ 苦情・要望については、毎日行う朝夕の職員ミーティングにより対応、毎月工賃支給に合わせて行う所長面談等により利用者から施設の管理者へ苦情を申し出る体制が整っている。
(2) 財務の視点	15.0 (25)	
(3) 業務の視点	26.0 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	雨樋修理	132,000		経年劣化による故障
	パッケージエアコンドレン工事	41,360		経年劣化による故障
	合 計	173,360	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		1,000,000		
差 額		△ 826,640		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		903,000		
差 額		△ 903,000		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	協定書のとおり
--------------------------	---------

	利用区分等(単位)	令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	中野市りんごの木共同作業所	1,867	1,840	101.5%
	中野市ひあワーク就労支援施設	5,883	5,536	106.3%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	7,750	7,376	105.1%
施設 使用 回数 (回)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用回数 合計	0	0	0.0%
施設 利用 料金 (円)				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
				0.0%
	施設利用料金 合計	0	0	0.0%

3 事業の実施状況

区 分	評価内容	りんこの木共同作業所	びあワーク就労支援施設														区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	5														27.0
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	7														
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	5														
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5	5														
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5	5														
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	3														15.0
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3														
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3														
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3														
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	3	3														
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3														26.0
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3														
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3														
	④ デジタル化への対応を行ったか。	2	2														
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	3														
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3														
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	3	3														
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3	3														
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	3	3														
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3														12.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3														
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3	3														
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3														

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	子ども部 子育て課	評価対象年度	令和5年度	
施設名称	中野市子育て支援拠点施設							
指定管理者	合同会社WIP			指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年間)			
根拠法令	児童福祉法							
設置条例	中野市子育て支援拠点設置条例							
施設設置目的	子育て支援に関する基盤形成を推進し、子育て支援の充実を図る。							
施設概要	子育て支援センター、子育てサポートエリア、一時預かり室、多目的運動施設、野外運動場、駐車場、自主事業施設、その他の施設							
施設の主な実施事業	管理運営事業、施設の維持管理及び設備等の保守管理、地域子育て支援拠点業務、一時預かり事業業務、子育てサポートエリア管理運営業務及び自主事業に関する業務							
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	利用者数			41,293	10,000	412.9%		
	一時保育利用者数			370	600	61.7%		
	新規施設のため、計画比					0.0%		
						0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	30,000,000	市収入額	0		
	項 目	予算額			決算額			
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支	
		指定管理業務	32,448,000	31,928,320	519,680	30,677,400	32,638,327	△ 1,960,927
		自主事業	36,160,200	35,891,000	269,200	314,286	95,097	219,189
合 計		68,608,200	67,819,320	788,880	30,991,686	32,733,424	△ 1,741,738	
職員の配置状況	子育て支援センター員:3名(施設長含む)、一時預かり業務:2名 合計:5名							
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年9月11日	二回目	令和6年3月7日				

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・公園や子どもの遊べる施設が減る中、無料で遊べる施設があるのはとても助かる。 ・いろんな方が利用しているはずなのに、使うときはいつもキレイです。使った方がきれいに片付けて帰ってるのか、職員の方が拭いてくれているのかわかりませんが、いつも快適に使えるので気持ちがいいです。ありがとうございます。 ・子供達も遊ばせやすく、先生たちにも会って話すことができて育児が行き詰まったりする中で自分がホッとできる場所なのでこれからもよろしくお願いします。	→	平日は乳児期、休日は幼児、学童の利用が多い。これから地域の遊び場として、多年齢、他市町村の方々を利用しやすい環境づくりを行っていく
【苦情・改善の要望】 ・トイレ用ベビーチェアを設置してほしい。 ・トイレの男女マークが分かりづらいです。小さい子からお年寄りまでが分かりやすい表示に変えてほしいです。 ・普通の食事ができたり、もう少しおやつのレパートリーが増えたらうれしいです(カフェ) ・(職員の対応)もうちょっとコミュニケーションがあるといい。	→	・1階多目的トイレにベビーチェア設置(5月) ・トイレのピクトグラムに色を付け、男女の表示をわかりやすくした ・6年度はシェアキッチンに3店舗が入り営業開始 ・管内の定期巡回を行い、施設内の安全管理を行うとともに、積極的にフロアに出て、利用者に声かけを行う。職員間で情報共有を行い、やさしく丁寧な、またははっきりとした態度で利用者対応をする。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	新規施設のため、計画比	38
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	7		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	一時預かりの利用が少なかった	12
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	2	収入が見込まれるような自主事業が実施されなかった	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3	物価高騰により、想定以外の電気料がかかった。節電に努めたものの、予算を大きく上回る結果となった。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	2	経理区分が明確ではない	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		27
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	2	各報告の遅延や不正確な事務が散見される。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	5	利用者登録をアプリで行っている	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	2	施設の外回り部分の管理について、改善指示に対する対応が十分でなかった	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	3		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(2)-① 計画どおり収入が得られたか	一時預かり事業の収入が当初計画よりも少ないが、年度当初よりも年度末に向けて利用者も増えているので、来年度は増になるよう努めてもらいたい。
(2)-② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	収入の見込が得られるよう自主事業等の実施し、収入増につなげてもらいたい。
(2)-④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	管理経費と自主事業経費の区分を明確にし、内訳の内容も分かるようにしてもらいたい。
(3)-③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	各種報告や資料の提出などが遅延・不正確な状況であり、影響が出ているため、業務改善をお願いしたい。
(3)-⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	施設の周りも管理をしっかり行ってもらいたい。また、市からの改善指示に対しては速やかに対処するようお願いしたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	38 (50)	・施設管理運営にあたり、利用者のニーズを把握し効果的な事業運営、サービスに努めた。 ・目標よりも利用者数が増であった、今後も利用者が前年を上回ることを期待したい。 ・今後は、施設管理のみでなく、自主事業にも取り組んでいただきたい。 ・指定管理制度の理解を深め、事務のスピード、正確性の向上を求める。また、市からの改善指示に対しては真摯に受け止め、迅速な対応を望む。
(2) 財務の視点	12 (25)	
(3) 業務の視点	27 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差 額		0		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	パソコン購入費	188,060		
	Wi-Fi設置費	336,000		
	電話機	19,000		
	合 計	543,060	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		2,160,000		
差 額		△ 1,616,940		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	子育て課との話し合いの結果、1年目ということで修繕費の計上をしなかった。 今後経年劣化による設備の改修や施設内の樹木等の管理が見込まれるため、修繕費を計上し、市と協議しながら修繕と景観美化を進める。
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課		くらしと文化部 文化スポーツ振興課		評価対象年度		令和5年度				
施設名称		中野市民プール										
指定管理者		株式会社 日本水泳振興会			指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)					
根拠法令		なし										
設置条例		中野市体育施設条例										
施設設置目的		市民体育の向上を図るため										
施設概要		管理棟、50m競泳プール、流水プール、幼児プール、スライダー										
施設の主な実施事業		プール施設管理運営業務、指定管理者による自主事業(物販、水泳教室などのイベント)										
施設利用状況		利用区分等(単位)				令和5年度実績(A)		令和4年度実績(B)		比較(A)/(B)		
		プール利用者数(人)				12,677		8,868		143.0%		
		プール利用料収入(円)				1,398,200		999,700		139.9%		
										0.0%		
										0.0%		
事業収支 (単位:円)		利用料金制	不採用		指定管理料額		8,148,148		市収入額		1,388,200	
		項 目		予算額				決算額				
				収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支			
		指定管理業務		8,942,717	8,948,148	△ 5,431	8,942,717	8,890,546	52,171			
		自主事業		970,000	770,000	200,000	1,101,095	909,389	191,706			
		合 計		9,912,717	9,718,148	194,569	10,043,812	9,799,935	243,877			
職員の配置状況		繁忙期 施設長 1名、受付員 2名 監視員 8名 通常期 施設長 1名、受付員 2名 監視員 6名										
所管課による現地調査実施日		一回目	令和5年6月14日		二回目	令和5年9月4日						

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
指定管理者として初年度であったため、人員確保、自主事業の実施などで苦戦した。 屋外施設のため、利用者数は天候に左右される部分はあるが、他施設の運営経験を活かし、利用者増、収入増に結びつけてほしい。	→	プール営業開始の前倒し、自主事業の実施により、前年度と比べ利用者増、収入増となった。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 じゃんけん大会など楽しかったのもっと開催してほしい。 マットが敷いてあったので足がいつもより足が熱くなかった。 売店が常にやっていて良かった。	→	今後もイベントを行って参ります。 導線がすべてカバーできるよう敷設して参ります。 引き続き休まず営業して参ります。
【苦情・改善の要望】 監視員に怒られた。 雷がなるとすぐに中止になってしまう。	→	利用者に不快感を与えないよう接客研修を行い、実践して参ります。 安全上、ご理解いただくよう心がけます。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	コロナの影響を受けずにまた、7月当初からの営業ができた。	32
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	暑さ対策のロールマット、売店の営業、ビアガーデンを実施した	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		16
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	光熱費の高騰に伴い、ろ過ポンプ・スライダーなどの電力消費量の多い設備の使用を調整したことにより、前年度に対して横ばいとなった。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	暑さ対策のロールマット、プールサイドの異物、雑草などの有無を始業前に点検、残留塩素、プール内の藻の発生を随時確認するなど法令に則り管理を実施した。	31
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	3		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	前年の改善指示を踏まえ、プール営業開始の前倒し、自主事業を実施した。令和5年度における改善指示はなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	プール監視員については、事前にリーダーから営業時間中にワンツーマンで指導を受け、緊急体制についても事前に研修を受けた。令和5年度に事件・事故の発生はなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	3		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	32 (50)	指定管理者として2年目の運営となり、昨年度より業務の流れ・地域性などを掴みながら運営を行えた。 プールのオープンを例年より2週間早い7月の第1週土曜日にし、売店も好天だったこともあり売り上げが好調だった。また、キャッシュレスの導入をすすめ、利用者の利便性の向上に努めた。ビアガーデンを自主事業としてプール利用時間外の午後6時から実施して、30名ほどの集客があった。 次年度は3年目となりますが、自主事業に特に力を入れて取り組んでいただきたい。
(2) 財務の視点	16 (25)	
(3) 業務の視点	31 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	スライダー補修	45,000	300,000	
	売店屋根	35,000		
	トイレ水栓	33,400		
	シャワー	36,220		
	放送器具	18,650		
	幼児プール水栓	28,630		
	プールサイド床面補修	62,020		
	合 計	258,920	300,000	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		300,000		
差 額		△ 41,080		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	購入なし	0	0	
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の
過不足についての考え

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	くらしと文化部 文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和5年度		
施設名称	中野市営野球場ほか14施設							
指定管理者	中野市体育協会			指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)			
根拠法令	なし							
設置条例	中野市体育施設条例、中野市B&G海洋センター条例							
施設設置目的	市民体育の向上を図るため							
施設概要	中野市営野球場:競技面積12,200㎡、中野市営運動場:競技面積 9,545㎡、中野市民体育館:鉄筋コンクリート造2階建 競技面積1,728㎡、中野市武道館:柔道場14m×13m 剣道場14m×23m、中野市営テニスコート8面、中野市弓道場:建築面積 523㎡、中野市篠井川河川敷運動広場:競技面積 4,500㎡、中野市コミュニティスポーツセンター:アリーナ・多目的ルーム・トレーニングルーム、中野市屋内運動場:建築面積 820.88㎡、中野市営豊田テニスコート:競技面積2,280㎡、中野市営豊田野球場:競技面積15,220㎡、中野市営豊田マレットゴルフ場:競技面積1,800㎡、中野市永田社会体育運動場:競技面積 4,008㎡、中野市B&G海洋センター:鉄筋コンクリート2階建 競技面積 1,453㎡、中野市北公園:公園面積7ha							
施設の主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業							
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	別紙のとおり					0.0%		
						0.0%		
						0.0%		
						0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	58,988,917	市収入額	9,354,985	
	項 目	予算額			決算額			
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支	
		指定管理業務	61,190,206	57,660,000	3,530,206	61,475,835	59,477,857	1,997,978
		自主事業	400,000	400,000	0	388,954	388,954	0
合 計	61,590,206	58,060,000	3,530,206	61,864,789	59,866,811	1,997,978		
職員の配置状況	①市民体育館事務所 事務局長1名、事務局次長1名、事務員3名(うち兼務2名)、作業主任1名 合計6名 ②豊田B&G海洋センター 事務員2名 計2名							
所管課による現地調査実施日	一回目	令和6年9月7日	二回目	令和6年2月29日				

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
(1)① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか HP等を活用し、施設のPRに努め、利用者の要望や需要を把握しながら、自主事業等を実施していきたい。	→	前年比116.4% 施設別では利用者数減となっている施設はあるが、15施設を合計して利用者数増となった。
(1)④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか HP等を活用し、施設のPRに努め、利用者の要望や需要を把握しながら、自主事業等を実施していきたい。	→	継続事業のほか、新たに弓道初心者指導教室(R5.8月～R6.3月、延べ114名参加)、SUP教室(8名参加)を実施された。
(2)① 計画どおり収入が得られたか HP等を活用し、施設のPRに努め、利用者の要望や需要を把握しながら、自主事業等を実施していきたい。	→	前年比113.4% 施設別では収入減となっている施設はあるが、15施設を合計して収入増となった。

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 アンケート調査は定期利用の54団体(回答42) アンケート結果 A:満足、B:やや満足、C:普通、Dやや不満、E不満 ・予約受付等利用しやすさ A26%、B19%、C38%、D17%、E0% ・施設の清潔さ A19%、B24%、C37%、D19%、E0% ・スタッフの対応 A33%、B33%、C31%、D3%、E0% ・全体的な満足度 A21%、B33%、C41%、D5%、E0%	→	・予約受付等についてはおおむね良好の評価をいただいております。今後も改善に努めます。 ・スタッフの対応については親切・丁寧と多くの評価をいただいておりますが、態度が悪いスタッフがいるとの回答もあり引き続き指導等で接客改善に努めます。
【苦情・改善の要望】 ・駐車場の利用しやすさ A15%、B12%、C34%、D34%、E5% ・体育施設・設備の状況 A10%、B12%、C49%、D24%、E5% ・運動場等のトイレ詰まり	→	・駐車場が少ないとの意見が非常に多い。市への要望とする。 ・設備では冷暖房設備の設置要望が高く、トイレの洋式化や設備更新、修繕要望が多い。修繕や改善可能なものは迅速に対応しているが多額の費用のかかるものは市への要望とする。 ・トイレの不具合は頻繁に発生しており、できるだけ迅速に対応しているが、給水不足など設備上の問題も多々あるため市での改善を要望する。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	別紙のとおり	前年比116.4%。施設別では利用者数減となっている施設はあるが、15施設を合計して利用者数増となったが、豊田テニス場及び豊田マレットゴルフ場については大幅減となっている。	24.7
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	別紙のとおり		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	別紙のとおり		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	別紙のとおり	継続の自主事業のほか、新たに弓道初心者指導教室及びSUP教室の実施されたことは評価できるが、未実施の施設が7施設ある。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	別紙のとおり		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	別紙のとおり	前年比113.4%。施設別では収入減となっている施設はあるが、15施設を合計して収入増となったが、弓道場、屋内運動場及び豊田テニス場については大幅減となっている。	14.3
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり	各施設において、利用(予約)のない時間帯を利用してもらうための積極的な広報を行っていない。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	別紙のとおり		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	別紙のとおり		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	別紙のとおり		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	別紙のとおり		27.8
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	別紙のとおり		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	別紙のとおり		
	④ デジタル化への対応を行ったか	別紙のとおり	市から実施を求めたQRコード等を用いたオンラインアンケートの取組がなかったため。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	別紙のとおり		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	別紙のとおり		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	別紙のとおり	事件・事故0件であるため。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	別紙のとおり		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	別紙のとおり	実質再生可能エネルギー100%の電気を導入したため。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	別紙のとおり		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	別紙のとおり		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	別紙のとおり		
	④ 労働関係法令を遵守したか	別紙のとおり		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1) ① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	前年度比で大幅な減となっている施設については、要因を究明のうえ利用者増加に努めていただきたい。
(1) ④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	継続の自主事業のほか、新たに弓道初心者指導教室及びSUP教室を実施されたことは評価できるが、未実施の施設が7施設あるため、実施に努めていただきたい。
(2) ① 計画どおり収入が得られたか	前年度比で大幅な減となっている施設については、要因を究明のうえ収入増加に努めていただきたい。
(2) ② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	各施設において、利用(予約)のない時間帯を利用してもらうため積極的な広報に努めていただきたい。
(3) ④ デジタル化への対応を行ったか	紙媒体のアンケート用紙にオンライン回答用のQRコードを記載するなど回答者の利便性にも配慮していただきたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	評価	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	24.7 (50)	・年間と通じて利用されない時間帯における利用促進を図り、施設利用回数及び人数の増加に努めていただきたい。 ・継続の自主事業ほか、新規で弓道初心者指導教室及びSUP教室を実施したことは評価できるが、未実施の施設が7施設ある。参加費を徴収するなど効果的なイベント(自主事業)にも積極的に取り組んでいただきたい。 なお、自主事業を実施する際には実施時期とターゲットを決めて、効果的に実施していただきたい。
(2) 財務の視点	14.3 (25)	
(3) 業務の視点	27.8 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B-	
要改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差 額		0		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

	利用区分等(単位)	令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)
施設 利用 状況 (延人数)	市営野球場	16,600	13,613	121.9%
	市営運動場	10,582	10,941	96.7%
	市民体育館	28,312	20,474	138.3%
	市武道館	10,846	6,080	178.4%
	市営テニス場	11,266	11,193	100.7%
	市弓道場	2,668	1,682	158.6%
	市篠井川河川敷運動広場	40	1,026	3.9%
	市コミュニティスポーツセンター	21,003	21,171	99.2%
	市屋内運動場	6,532	5,343	122.3%
	市営豊田テニス場	159	252	63.1%
	市営豊田野球場	6,038	6,205	97.3%
	市営豊田マレットゴルフ場	181	242	74.8%
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%
	市B&G海洋センター	9,146	7,787	117.5%
	北公園	—	—	0.0%
				0.0%
	施設利用状況 合計	123,373	106,009	116.4%
施設 使用 回数 (回)	市営野球場	283	304	93.1%
	市営運動場	241	228	105.7%
	市民体育館	665	554	120.0%
	市武道館	487	402	121.1%
	市営テニス場	2,340	1,976	118.4%
	市弓道場	818	753	108.6%
	市篠井川河川敷運動広場	3	60	5.0%
	市コミュニティスポーツセンター	1,729	1,670	103.5%
	市屋内運動場	335	407	82.3%
	市営豊田テニス場	82	105	78.1%
	市営豊田野球場	123	121	101.7%
	市営豊田マレットゴルフ場	25	29	86.2%
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%
	市B&G海洋センター	710	654	108.6%
	北公園	—	—	0.0%
				0.0%
	施設利用回数 合計	7,841	7,263	108.0%
施設 利用 料金 (円)	市営野球場	1,957,075	1,840,965	106.3%
	市営運動場	823,050	846,600	97.2%
	市民体育館	1,306,570	836,000	156.3%
	市武道館	527,130	492,500	107.0%
	市営テニス場	1,608,090	1,475,720	109.0%
	市弓道場	120,760	175,900	68.7%
	市篠井川河川敷運動広場	1,870	5,720	32.7%
	市コミュニティスポーツセンター	1,695,700	1,293,565	131.1%
	市屋内運動場	353,135	614,570	57.5%
	市営豊田テニス場	41,580	71,250	58.4%
	市営豊田野球場	112,800	1,600	7050.0%
	市営豊田マレットゴルフ場	1,000	600	166.7%
	市永田社会体育運動場	—	—	0.0%
	市B&G海洋センター	806,225	594,950	135.5%
	北公園	—	—	0.0%
				0.0%
	施設利用料金 合計	9,354,985	8,249,940	113.4%

3 事業の実施状況

区 分	評価内容	市営野球場	市営運動場	市民体育館	市武道館	市営テニス場	市弓道場	市篠井川河川敷運動広場	市コミュニティスポーツセンター	市屋内運動場	市営豊田テニス場	市営豊田野球場	市営豊田マレットゴルフ場	市永田社会体育運動場	市B&G海洋センター	北公園	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	5	10	10	5	10	5	5	10	1	5	2	5	7	5	24.7
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5	1	5	1	5	7	5	1	5	1	1	1	5	7	1	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	3	5	3	3	1	3	3	1	1	5	5	3	5	3	14.3
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	3	2	3	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	27.8
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく適切な内容であったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ デジタル化への対応を行ったか。	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか。	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか。	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	3	3	4	4	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	12.0
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	④ 労働関係法令を遵守したか。	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	くらしと文化部 文化スポーツ振興課	評価対象年度	令和5年度	
施設名称	中野市多目的サッカー場						
指定管理者	中野市体育協会		指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)			
根拠法令	なし						
設置条例	中野市体育施設条例						
施設設置目的	市民体育の向上を図るため						
施設概要	サッカー場 管理棟37.2㎡、敷地面積19,162㎡						
施設の主な実施事業	貸館事業・指定管理者による自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和4年度実績(A)	令和3年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	多目的サッカー場利用者数(人)			33,644	33,185	101.4%	
	多目的サッカー場利用回数(回)			750	750	100.0%	
	多目的サッカー場利用料金(円)			784,850	753,700	104.1%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	5,794,772	市収入額	784,850
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	6,221,543	5,440,000	781,543	6,805,539	6,216,602	588,937
	自主事業	180,000	180,000	0	204,959	204,959	0
	合 計	6,401,543	5,620,000	781,543	7,010,498	6,421,561	588,937
職員の配置状況	事務局長1名、事務局次長1名、事務員3名、作業主任1名、パート1名 合計7名(うち兼務6名)						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年9月7日	二回目	令和6年2月29日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
(1)の④「利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか」について、HP等を活用し、施設のPRに努め、利用者の要望や需要を把握しながら、自主事業等を実施していきたい。	→	新型コロナウイルスの影響で中止していた無料開放事業及び少年少女サッカー大会を実施し、それぞれHP等による広報を行い、対象者に利用又は参加を呼びかけた。また、新規事業としてサッカー体験会(参加者30名)を開催された。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 アンケート調査は定期利用の54団体(回答42) アンケート結果 A:満足、B:やや満足、C:普通、D:やや不満、E:不満 ・予約受付等利用しやすさ A26%、B19%、C38%、D17%、E0% ・施設の清潔さ A19%、B24%、C37%、D19%、E0% ・スタッフの対応 A33%、B33%、C31%、D3%、E0% ・全体的な満足度 A21%、B33%、C41%、D5%、E0%	→	・予約受付や利用方法にはおおむね良好の評価をいただいております、引き続き改善に努めたい。 ・スタッフの対応については親切・丁寧と多くの評価をいただいております、引き続き向上するよう努めたい。
【苦情・改善の要望】 ・体育施設・設備の状況 A10%、B12%、C49%、D24%、E5% ・人工芝の張替 ・冬季間の利用	→	・施設の修繕や改善可能なものは迅速に対応している。 ・利用開始から12年が経過し人工芝の摩耗が目立つため張替要望は年々多くなってきている。市への要望とする。 ・12月～2月の間は冬季閉鎖。12月の降雪前まで許可しているがその後はグラウンドコンディション維持のため使用を許可をしていない。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		25
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		15
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		28
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	2	市から実施を求めたQRコード等を用いたオンラインアンケートの取組がなかったため。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故0件であるため。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	実質再生可能エネルギー100%の電気を導入したため。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(3) ④ デジタル化への対応を行ったか	デジタル弱者に配慮するため紙媒体でアンケートを実施することは適切ではあるが、紙媒体のアンケート用紙にオンライン回答用のQRコードを記載するなど回答者の利便性にも配慮していただきたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	25 (50)	・年間を通じて利用されない時間帯における利用促進を図り、施設利用の回数及び人数の増加に努めていただきたい。 ・新規でサッカー体験会を実施していることは評価できるが、参加費を徴収するなど効果的なイベント開催(自主事業)に取り組んでいただきたい。
(2) 財務の視点	15 (25)	
(3) 業務の視点	28 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	照明制御用トランス取替工事	102,300	0	故障
	照明ランプ交換	94,600	0	玉切れ
	サッカーゴール修繕	3,500	0	欠損部品交換
	合 計	200,400	0	
	指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1	150,000		
差 額		50,400		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	テント1.5K×2.0K 2張	194,000	0	部品の欠損や損傷が著しいため
	合 計	194,000	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		0		
差 額		194,000		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	予算の範囲内で必要な対応とする。
--------------------------	------------------

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 農業振興課	評価対象年度	令和5年度	
施設名称	中野市農村環境改善センター帯の瀬ハイツ							
指定管理者	公益社団法人中野広域シルバー人材センター		指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日				
根拠法令	-							
設置条例	中野市農村環境改善センター条例							
施設設置目的	農業に従事する者並びに市民の相互理解と連携を図り地域農業や市民生活の向上に資するため。							
施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室、多目的ホール							
施設の主な実施事業	貸館事業、指定管理者による自主事業(帯の瀬の日、売店設置、健康教室、開放市民の日、絵付け体験、キムチづくり講座、花火観賞会)							
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	施設利用状況(延人数)			6,625	5,753	115.2%		
	施設利用日数(日)			265	263	100.8%		
						0.0%		
						0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	10,356,000	市収入額	103,030	
	項 目	予算額			決算額			
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支	
		指定管理業務	10,394,605	10,356,000	38,605	10,406,005	10,406,005	0
		自主事業	160,095	157,067	3,028	160,095	157,067	3,028
合 計	10,554,700	10,513,067	41,633	10,566,100	10,563,072	3,028		
職員の配置状況	館長(兼務)1名、主任1名、就業会員3名 合計5名							
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年6月29日	二回目	令和5年10月5日				

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・満足です ・不満なし ・いつも送迎ありがとうございます。 ・いつも良くしていただいて満足です。	→	利用者の皆さんが、安全で快適に利用していただけるようより一層努力していく。
【苦情・改善の要望】 ・多目的ホールの暖房は朝の早いうち寒いので早めに入れてほしい ・調理実習室の足元が滑りそうで心配 ・温かいお茶が飲みたい時期なのでポットや急須を借りたい	→	・利用者の利用状況等を確認しながら、温度を適宜調整している。 ・滑りにくいゴム製のスリッパを用意している。 ・施設での飲食についてのガイドラインを設定

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	7	新型コロナウイルス前の日常を取り戻しつつあり、利用者数、使用日数、団体数共に増加した。	33
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	施設利用者と直接会話し、意見や改善要望を聞くほかアンケートを常設し、要望・意見聴取行い、改善可能な事案から対応した。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	アンケート結果から、93%の満足度（そのほか 悪い評価0%）があることから、対応・接遇は好評であった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	例年行っている事業でも新たな取組を行い利用者に快適に過ごしてもらえるよう努力が見られる。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	業者へ依頼することなく直営での施設管理。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	長期的に利用されていなかった不要な備品について処分を行い、転倒などの事故防止のため、施設内の整理整頓に努めた。	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理（保守・清掃・設備等）業務の実施及び法令を遵守したか	4	専門業者に委託して行う法定点検のほか、地下タンクの漏洩検査を自主的に毎月実施し、注視した。	33
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	3		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	市からの対応改善指示はなく、利用者と直接コミュニケーションを取ることやアンケートの実施により意見を聞きながら運営出来た。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	岳南危険物・安全協会に出席し、防災・防火のために消防計画、避難確保計画を見直すとともに災害対応マニュアル並びに緊急連絡網の整備を行った。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	5	主な利用者層が高齢者であるため、些細なことが原因で事故等に繋がってしまうことを理解し、管理運営を行えたことから、事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	3		
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者（職員）を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				50
				25
				45
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	33 (50)	施設の利用者や利用する団体が固定化されていることから新規利用者層を研究する等利用者増加に努めており、施設の課題を理解し改善に向け実践している点が評価できる。 しかし、令和4年度と比較すると新規自主事業が減少したため、今後、新たな自主事業の実施をお願いしたい。 また、施設利用者と直接会話し、意見や改善要望を聞くほか常設したアンケートにより要望などを把握し、改善可能な事案から対応していることから、令和4年度と比較するとサービス満足度が向上している。 主な利用者が高齢者であることから転倒などの事故が生ずる恐れがあることから、今後も利用者の意見や改善要望を聴き、施設内の段差等の危険個所の確認、整理整頓の徹底など、引き続き安心安全な施設管理をお願いしたい。 市から依頼したアンケートの電子化について未実施のため実施するようお願いしたい。
(2) 財務の視点	17 (25)	
(3) 業務の視点	33 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	水道量水器格納庫上蓋交換	132,000		腐食の危険性と落下防止
	小浴場排水溝詰まり修繕	25,300		排水不良のため
	合 計	157,300	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差 額		157,300		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の過不足についての考え	・日々の施設管理については偶発的な事故や老朽による破損等が生じる場合があり、その都度修繕等に対応している。 ・各種研修会や会議、懇談会など新規自主事業に対応したり、利用者アンケートに応えたりし修繕や改良。
----------------------	---

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 農業振興課	評価対象年度	令和5年度
施設名称	中野市豊田農産物加工施設						
指定管理者	中野市豊田農産物加工施設利用組合			指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日		
根拠法令	-						
設置条例	中野市豊田農産物加工施設条例						
施設設置目的	地域農業振興の向上に寄与することを目的として、農産物加工施設を設置する。						
施設概要	加工室、研修室、材料搬入室、材料庫、熟成室						
施設の主な実施事業	おやき・アップルパイ・味噌等加工品の製造販売、体験受け入れ						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	利用者数			2,357	2,486	94.8%	
	利用者数内訳(おやき部)			819	871	94.0%	
	" (菓子部)			1,147	1,166	98.4%	
	" (みそ部(惣菜班分を含む))			391	449	87.1%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	3,266,000	3,266,000	0	3,798,771	4,033,361	△ 234,590
	自主事業	173,870	173,870	0	173,870	173,870	0
	合 計	3,439,870	3,439,870	0	3,972,641	4,207,231	△ 234,590
職員の配置状況	組合長1名、副組合長2名(うち1名会計兼務)、理事11名(うち3名兼務)、監事2名						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年5月18日	二回目	令和5年10月30日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
指定管理業務と自主事業の経理区分が明確ではないため収支決算書を指定管理業務と自主事業に分けて作成する。	→	収支決算書を指定管理業務と自主事業を分けて報告。
防災訓練等訓練が実施されていない状況であったため防災講話を豊田消防署に依頼する。	→	令和6年1月24日豊田消防署による防災講話を実施。
個人情報保護責任者は定められているがそのほかの体制が整えられていないため、責任者の指示のもと体制を整備する。	→	個人情報保護に関する規程、体制を整備した。
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 味噌作り体験時にアンケートを実施し、参加者全員が「満足」と回答があった。 楽しくて勉強になりました。 昨年のお味噌おいしくて、今年も参加させていただきました。	→	部員の減少により、令和5年度でみそ部は解散するものの味噌作り体験は受け入れしていく。
【苦情・改善の要望】 味噌作り以外の体験の希望があった。	→	おやきの体験を取り入れた。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		27
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5	アンケートを実施し要望を受けおやき体験を実施した。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	25周年感謝祭を実施。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	4	予算比約116%の収入があった。	18
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	ふるさと納税返礼品・NAGANOマルシェ・イベントへの出店を活用し、売り上げ予算比約106%増加した。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	令和5年度から会計士を雇い、適切に管理をされている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		28
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	2	提出書類について内容不備が散見される。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	3	組合員のSNSより活情報を発信しているが市から依頼したアンケートの電子化については未実施。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	25周年感謝祭の際にエコバックを持参するよう促した。施設近くの畑で商品に使う野菜を栽培。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(3)③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	市への提出書類について内容不備が散見され、その都度、修正を依頼しているが、不明な点については、事前に市に確認をしたうえで、書類の作成をお願いしたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	27 (50)	市への提出書類について内容不備が散見され、その都度、修正を依頼しているが、不明な点については、事前に市に確認をしたうえで、書類の作成をお願いしたい。 今後は、組合員の高齢化により、組合員数が減少していくことが予想されることから、これまで築き上げてきた加工技術やブランドを絶やさないためにも、より発展的な管理、運営をお願いしたい。 また、売上の向上に繋がる取組や人材の確保に繋がるPR活動を行ってもらいたい。 市から依頼したアンケートの電子化について実施するようお願いしたい。 視察研修を行っているが研修については類似施設の見学を行う等より業務に直結する内容の研修の実施をお願いしたい。
(2) 財務の視点	18 (25)	
(3) 業務の視点	28 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	冷蔵・冷凍庫の修繕	123,900	110,000	
	合 計	123,900	110,000	
	指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1			
差 額		123,900		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	ラベルプリンター	129,800	0	プリンターが故障したため
	合 計	129,800	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		129,800		

修繕費・備品購入費の
過不足についての考え

備品購入費は、各部独立採算制であるが、各部負担が50,000円を超えた場合は本会計から負担する。

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	経済部 農業振興課	評価対象年度	令和5年度	
施設名称	中野市南永江地区地域交流センター						
指定管理者	南永江自治会	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日				
根拠法令	-						
設置条例	中野市地域交流センター条例						
施設設置目的	地域材の啓発と利用拡大を図るほか、地域住民のコミュニティー活動の助長や交流の場として、地域交流センターを設置する。						
施設概要	和室会議室、和室小会議室、小会議室、生活研修室、調理実習室						
施設の主な実施事業	貸館事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	施設利用状況(延人数)			1,482	1,248	118.8%	
	会議室利用者数(人)			1,118	1,121	99.7%	
	学習室利用者数(人)			343	30	1143.3%	
	研修室利用者数(人)			21	97	21.6%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額	0	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	384,000	384,000	0	252,150	252,150	0
	自主事業	0	0	0	0	0	0
	合 計	384,000	384,000	0	252,150	252,150	0
職員の配置状況	南永江自治会役員						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年5月15日	二回目	令和5年10月20日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
アンケートにより利用者ニーズを把握し、自主事業を実施する。	→	継続して感想・要望ノートを備え付けているが、自主事業は実施していない。
区民以外の利用者がいないことから、利用料の収入がないため区長会等で区民以外の者に利用を呼び掛ける。	→	他地区の区長がいる場で南永江交流センターの存在について周知した。
自治会役員会において、地域住民以外の者に交流センター利用促進策等について話し合う。	→	具体策が出たわけではないが話し合いの場で話題にはなった。
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 なし	→	利用者が地域住民に固定されていることから、アンケートの提出がなされていないが、感想・要望ノートを備え付けて利用者の声を拾い上げている。
【苦情・改善の要望】 トイレ清掃用品の補充と備え付け。 障子の一部が剥がれている。	→	速やかに補修を実施した。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	7	利用者の増加により、昨年度比約119%を達成できた。	19
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	1	自主事業を実施していない。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	1	体制が整っていない	
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	1	利用料の収入は無かった。	11
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	1	取組が見られなかった。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		25
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	1	仕様書に定めるAED研修を実施していない。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	3		
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	2	改善指示への対応が不十分だった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	3		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		11
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	2	研修は行われていない。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1) ④ 利用者を一層把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか ⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	④利用者が地域住民に固定されていることから、新しい意見は出ないが感想・要望ノートを備え付けて利用者の声を拾い上げ施設の管理は適切に行っている。 ⑤情報を適切に開示できる体制は整っていない。
(2) ① 計画どおり収入が得られたか ② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	①区民以外の利用が無いことから利用料の収入がない。 ②取組はなかった。
(3) ② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	仕様書で定められているAED研修が行われていない。
(4) ③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	研修は行われていないが、自治会役員会の際に交流センターの利用促進策について話し合った。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	19 (50)	新型コロナウイルスが落ち着き文化祭等の利用が増え、目標値には達しなかったが、令和4年度と比較すると利用者数が増加したことについて評価する。 南永江地域の住民のコミュニティ活動や交流の場として、適切に管理運営されているが、住民以外の利用に繋がられていない状況である。 今後、自治会への施設の譲渡を予定しているが、施設の新たな利用方法について、地域住民が主体となり検討をお願いしたい。
(2) 財務の視点	11 (25)	
(3) 業務の視点	25 (45)	
(4) 人材の視点	11 (20)	
年度評価	C	
不良		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	障子のり他	2,000	4,699	
	合 計	2,000	4,699	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1				
差 額		2,000		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	修繕は、突発的に対応しなければならないことが多く、予算は「あらづかみ」とならざるをえない。
--------------------------	---

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和5年度	
施設名称	中野陣屋・県庁記念館							
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社		指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5年間）				
根拠法令	地方自治法							
設置条例	中野陣屋・県庁記念館条例							
施設設置目的	歴史及び文化とのふれあいを通じ商業の振興を図る。							
施設概要	コミュニティールーム、常設展示室、資料展示室、会議室、土蔵資料館、カフェ							
施設の主な実施事業	管理運営事業、指定管理者による自主事業（喫茶事業、陣屋特別展、ミニギャラリー展示）							
施設利用状況	利用区分等（単位）			令和5年度実績（A）	令和4年度実績（B）	比較（A）／（B）		
	利用者数			35,300	31,186	113.2%		
						0.0%		
						0.0%		
						0.0%		
事業収支 （単位：円）	利用料金制	不採用		指定管理料額	9,550,648	市収入額	45,000	
	項 目	予算額			決算額			
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支	
		指定管理業務	9,177,774	10,578,000	△ 1,400,226	9,178,452	9,931,319	△ 752,867
		自主事業	6,264,613	5,819,000	445,613	6,204,195	5,966,688	237,507
	合 計	15,442,387	16,397,000	△ 954,613	15,382,647	15,898,007	△ 515,360	
職員の配置状況	館長：1名、嘱託職員：1名、臨時職員：2名 合計4名							
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年9月29日	二回目	令和6年3月15日				

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
来館しやすい施設づくり、積極的なPRを実施し、来館者の増加を図り、収益を上げるように努めてもらいたい	→	来館しやすい環境づくりに取り組んだ結果、来館者の増加に繋がり、収益も増加した
新規のイベントに参加し、収益を増加するための取り組みを行っていることなどから、今後も収益が増加するようなイベントを開催するなどし、収益の増加に努めてもらいたい。	→	昨年度に引き続きイベントの参加や、新メニューに開発などにより、収益が増加した
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・特色あるカフェメニューが欲しい。 ・本年度も三澤画伯の特別展を開催してほしい。 ・ロビーコンサートが続けてほしい。	→	・季節の野菜をトッピングした焼きカレー、ブラックカレー等の新メニューを考案した。 ・昨年に引き続き「三沢忠展」を開催した。 ・気軽に立ち寄れるコンサートを目指し、4回実施した。
【苦情・改善の要望】 ・カフェが混雑して入れない	→	・名前を記入し、展示を観覧したのち、席が空いたら案内するようにした。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	7	街の活性化と賑わい創出を図るべく、貸館の充実及び助手事業を実施し、特別展では地元出身の洋画家「もうひとつの三澤忠展」を開催し、多くの集客があった。	31
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	混雑時の対応として、展示に案内したことにより施設利用者も増加した。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	設置目的に適した展示やカフェの新メニューを開発し、利用者の増加につなげた。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	自主事業について、目標値は未達であったが、昨年度比29.1%の増であった。	17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	新メニューの開発等をしたため、昨年度に比べ大幅増となっていた。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	税理士の指導を受け、適正に会計処理が行われている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	清掃に関して、周辺道路も清掃することで施設以外の景観も向上させている。	33
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	アンケートの電子化を行った。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	改善指示に対し適切かつ発展的に対応した	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	5	提供するメニューから出る食品残渣を可能な限り減らすことで廃棄物の低減を行った。また、長野県の信州ACE(エース)プロジェクトの信州食育発信3つの星レストランメニューを開発し、地産地消に努めた。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	31 (50)	令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、ほぼ平常時となったとはいえ、完全に回復していない中で、積極的なイベントへの参加(カレーフェス)や新しいメニューの開発など、様々な取り組みにより4年度よりも来館者数は増加した。 また、自主事業については、前年度に比べカフェ利用者が回復してきており、目標とする収入が確保できなかったが、前年度に比べ29.1%の増となっていることから、今後も引き続き収益の上がるような取組を続けてもらいたい。 今後も収益確保に向けたサービス展開とPRを実施し、費用対効果を高めると良いと考える。
(2) 財務の視点	17 (25)	
(3) 業務の視点	33 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	車いすタイヤチューブ交換	9,091		
	温水暖房便座取り付け	23,000		
	ストーブオイルサーバー修理	13,000		
	雨樋修理	100,000		
	除雪機修理	29,000		
	税	17,409		
	合 計	191,500	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		273,000		
差 額		△ 81,500		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和5年度	
施設名称	中野市観光会館・日本土人形資料館						
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社			指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)		
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市観光会館条例						
施設設置目的	中野土人形と全国の土人形の展示と絵付け体験の普及						
施設概要	鉄筋コンクリート造平屋建 展示室・体験室・茶室・会議室・トイレ・事務室・倉庫・前庭・駐車場						
施設の主な実施事業	土人形の展示と絵付け体験、管理運営事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	観覧者利用者数			3,593	4,434	81.0%	
	絵付け体験者数			1,021	1,161	87.9%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	8,023,888	市収入額	460,450
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	4,749,670	10,232,000	△ 5,482,330	4,750,597	9,630,454	△ 4,879,857
	自主事業	7,291,813	1,098,000	6,193,813	5,597,999	795,568	4,802,431
合 計	12,041,483	11,330,000	711,483	10,348,596	10,426,022	△ 77,426	
職員の配置状況	館長:1名、嘱託職員:1名、シルバー人材:1名 合計3名						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年8月14日	二回目	令和6年2月6日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
積極的な絵付け体験でのPRや新商品の開発、企画を通じ、来館者の増加を図り収益向上に努めてもらいたい。	→	企画については、絵付け体験用の土人形の追加を行い、絵付けに対する気軽さが増したが、諸事情により旅行客を対象としたツアーのキャンセルで収益向上には至らなかった。
新商品の開発/企画/販売/PRを通じ、収益向上に努めてもらいたい。	→	上記同様、新商品の追加や企画展の充実を図り、更なる誘客のため旅行会社と連絡とりあったが、しばらくの間は企画できかねると回答があり収益向上とはならなかった。
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 小学校社会科見学及び絵付け体験を実施し大変好評を得て多くの児童からお礼の手紙をいただいた。	→	更なるお客様目線での接客とサービス向上に努める
【苦情・改善の要望】 ・土人形の展示、見せ方に工夫がほしい ・気軽に体験できる絵付け用土人形がほしい	→	・企画展「不易流行 奈良由紀夫展」において、作品に合わせ背景を加えた新たな展示を実施した。 ・オリジナル土人形「願い兔(半円形)」を素焼きして絵付け用土人形として令和5年5月から提供を開始した。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者は前年に比べて増加したか	2	入館者数及び絵付け体験者数ともに前年度実績を下回った	26
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	アンケートでの要望を早急に受け入れ、更なるサービスの向上を図った	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	企画展での展示の工夫や絵付け体験用オリジナル土人形の追加など早急に企画を立て対応した	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	1	積極的なPRをしたものの自主事業について半減となっている	14
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	2	収入増とはいかなかったが、企画展での展示の工夫やイベント出展、絵付け体験など積極的にPRしていた	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	税理士の指導を受け、適正に会計処理が行われている	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	約2,000点の土びなをはじめ、備品について適正に管理されている	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	通常の管理と別に周辺道路の倒木が数件あったが、迅速に市と連携をとり、倒木撤去できたため来場者に対する配慮ができた	30
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	利用者へのアンケート調査を電子化し、更なるサービスの向上を図った	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	2	改善指示に対し早急な企画を立てたが、R4年度同様、2年連続で収益向上に至らなかった	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3	緊急連絡体制をとっており速やかに対応できる体制が整っている。また、マニュアル等の整備がされている	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故はなく、運営状況は適切である	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	不要となったポスターを商品などを入れる紙袋に再利用する等、意識をもってごみの削減に取り組んでいる	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	土人形師による絵付け指導や全国の土人形に関する情報提供などを行い、スキル向上に努めている	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(2) ① 計画どおり収入が得られたか	ツアー客による団体予約及び受入れ予定の団体が多数入っていたが、諸事情により団体予約が相次ぎキャンセルとなり、受入れ予定の団体の話も白紙となる1年となった。今後集客を取り戻すべく、積極的なPR、イベントの開催により、来館者の増加及び収益を上げるように指導した。
(2) ② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	上記の状況から収入増とならなかったが、企画展での展示の工夫やイベント出展、絵付け体験など土人形の魅力を積極的にPRしていた。今後集客を取り戻すべく、積極的なPR、イベントの開催により、来館者の増加及び収益を上げるように指導した。
(3)⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	改善指示に対し早急な企画を立てたが、R4年度同様、2年連続で収益向上に至らなかった。より具体的で実行可能な計画を行うことを指導する。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	26 (50)	PR活動について、情報誌(長野こまち DO! SUL)やWEB(長野県観光機構(GO NAGANO))において土人形の魅力をPRしたり、「ミュージアム干支コレクションアワード2024龍」において、全国から75点エントリーされた中、奈良氏の土人形「豊年大黒」が1位を獲得するなど、積極的なPRができたことは評価できる。 入館者数については、旅行会社とツアーの企画等の話し合いを持つ機会を設けるも、実際に中野市に呼び込む企画が諸事情より減ったこともあり入館者数は昨年度比19%減であった。資料館全体の展示方法等工夫し、リピーターにつながるような仕掛けづくりが必要であり今後に期待したい。
(2) 財務の視点	14 (25)	
(3) 業務の視点	30 (45)	
(4) 人材の視点	13 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	展示室ショーケース照明修繕	33,000		
	電気温水器修理	4,000		
	車両修繕	10,850		
	税	4,785		
	合 計	52,635	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		208,000		
差 額		△ 155,365		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の
過不足についての考え

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支			所管部課		経済部 商工観光課		評価対象年度		令和5年度		
施設名称		中野市観光特産館(信州中野観光センター)									
指定管理者		一般財団法人 信州なかの産業・観光公社			指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)				
根拠法令		地方自治法									
設置条例		中野市観光特産館条例									
施設設置目的		管理運営事業・自主事業(アンテナショップ事業、売店事業、イベント事業)									
施設概要		鉄筋造平屋建 ホール、事務室、トイレ、倉庫、駐車場									
施設の主な実施事業		管理運営事業・自主事業(アンテナショップ事業、売店事業、イベント事業)									
施設利用状況		利用区分等(単位)				令和5年度実績(A)		令和4年度実績(B)		比較(A)/(B)	
		利用者数				23,917		24,424		97.9%	
										0.0%	
										0.0%	
										0.0%	
事業収支 (単位:円)		利用料金制	不採用		指定管理料額		9,732,962		市収入額		0
		項 目		予算額				決算額			
				収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支		
		指定管理業務		6,308,740	12,711,000	△ 6,402,260	6,316,504	12,040,041	△ 5,723,537		
		自主事業		13,899,004	11,239,000	2,660,004	14,865,319	13,310,218	1,555,101		
		合 計		20,207,744	23,950,000	△ 3,742,256	21,181,823	25,350,259	△ 4,168,436		
職員の配置状況		館長:1名、嘱託職員:1名、臨時職員:2名 合計4名									
所管課による現地調査実施日		一回目	令和5年9月26日		二回目	令和6年2月20日					

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
・Instagramを開設し、情報発信に活用する。	→	・Instagramを開設し、情報発信した。
・市内観光施設と連動で開催している企画「ちいさな土人形」の土人形がよりよいものになるよう、改良に努める。	→	・土人形の種類の増等の改良を行った。
・来館者が増加するイベントを開催する。	→	・ミニ門松づくり体験教室等の新たなイベントを行った。
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・イベント用土人形や干支の土人形の制作が大変好評であった。 ・ギフトカタログのシャインマスカットが大変好評であった。 ・館内で販売している手づくり小物のリピーターが多く好評であった。	→	利用者の期待に応える商品の開発やカタログの制作に努めたい
【苦情・改善の要望】 ・駐車場の舗装破損 ・館内野鳥の侵入	→	・修復工事にて対応 ・市に要望し、防鳥ネットを設置した

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		25
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		16
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	税理士の指導を受け、適正に会計処理が行われている	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		30
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	アンケートの電子化を導入した。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故はなく、運営状況は適切である。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	受託者の個人情報保護規則に則り、適切に管理を行っている。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	3		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	25 (50)	指定管理業務、自主事業ともに適切かつ柔軟に対応していた。自主事業においては、前年度に引き続き、市内観光施設を巡るスタンプラリーイベント「ちいさな土人形を集めよう」では、職員が福だるまの制作に真摯に取り組み、当市知名度向上への貢献をした。
(2) 財務の視点	16 (25)	
(3) 業務の視点	30 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	非常誘導灯ランプ取替	5,000		
	消費税	500		
	合 計	5,500	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		300,000		
差 額		△ 294,500		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支		所管部課	経済部 商工観光課		評価対象年度	令和5年度	
施設名称	中野市地域職業訓練センター						
指定管理者	職業訓練法人 中高職業訓練協会		指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)			
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市地域職業訓練センター条例						
施設設置目的	地域における労働者、求職者等に対し、各種職業訓練を行い、職業の安定と労働者の地位向上を図るため						
施設概要	鉄筋コンクリート造2階建【教室棟(第1～5研修室、多目的ホール、視聴覚室、事務室、調理室、和洋室、トイレ、倉庫)、実習棟(実技室、研修室、実習室、トイレ)、駐車場】						
施設の主な実施事業	施設の管理業務、自主事業(職業能力開発校ほか)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	訓練認定 (延人員:人)			2,276	2,792	81.5%	
	公職職業訓練 (延人員:人)			5,152	3,182	161.9%	
	研修、講習会等 (延人員:人)			8,244	11,290	73.0%	
	その他(会議、展示会等) (延人員:人)			9,547	7,647	124.8%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料なし)	指定管理料額		市収入額		
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	6,930,000	6,930,000	0	5,901,995	5,901,995	0
	自主事業	33,000,000	33,000,000	0	32,555,857	32,555,857	0
	合 計	39,930,000	39,930,000	0	38,457,852	38,457,852	0
職員の配置状況	所長(管理責任者)兼防火管理者 1名、常勤職員 2名 合計3名 (中高職業訓練協会 職員3名のうち3名)						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年8月31日	二回目	令和6年2月29日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
収入が計画に対して微減となった主因は、新型コロナによる各研修室の定員制限が想定よりも長引いたことであると理解しているが、新たな利用者層を開拓するなどし、収益の向上に努められたい。	→	パソコン講座で再就職応援プランを作成するなど利用者層の開拓を行った。 全体利用者数は増えたものの、利用料の増加には至らなかった。
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・施設は綺麗で使用に特段の問題がない	→	定期定期的なメンテナンス(清掃業者による清掃やワックス)にて継続的に維持。 R5年度は廊下のワックス剥離を行いよりきれいな状態へ。
【苦情・改善の要望】 ・PC研修室への飲料持ち込みできるとありがたい	→	新型コロナウイルス感染症対策撤廃以降は、研修室での飲食は可能。 ただし、PC教室は飲料のみ。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5		34
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	利用者からの声を踏まえ、パソコンのスキルアップを図る講座を開催するなどし、満足度を高める取り組みを積極的に行った。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	クレームに至らないよう窓口における丁寧な対応を心がけるとともにホームページ等での小まめな情報発信を行った。また、駐車場の混雑が予想される場合は誘導を行い、事故防止はもとより利用者満足度を高めた。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	10	「女性のための就職支援セミナー＆パソコン教室」を実施し、ITフリーランス（在宅ワーカー）養成のコースを新設し2名を輩出し、一定程度の活躍の場が構築された。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	施設の利用回数は増えたものの、展示会等での利用が少なく収入が減少。 (利用回数 R5…1,953回) R4…1,072回	14
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理（保守・清掃・設備等）業務の実施及び法令を遵守したか	4	いずれの業務も然るべき業者に委託し、実施及び法令順守が徹底されている。	33
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	4	常に余裕をもって対応しており、補足資料等も速やかに提出され、評価に値する。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	利用者アンケートをデジタル化しての業務改善を図った。 施設利用の案内をデジタル化し、見やすくなるとともに業務効率の改善を図った。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3	市からの改善指示に従い対応した。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	5	駐車場の混雑が予想される場合は職員が誘導を行うなどし、事故防止を図るとともに、自主的に駐車場の白線引き直しを実施し、視認性を高めた事故防止に努めていた。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	女性のためのPC講座やパソコン講座で再就職者向けプランを作成した。	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者（職員）を配置しているか	3		14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4	自主事業（求職者訓練など）に役立てるため、国家資格キャリアコンサルタントを有する者を配置している。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	求職者向け訓練担当者のスキルアップ研修、キャリアコンサルタント関連研修やセミナーへの積極的な参加。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				50
				25
				45
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(2) ① 計画どおり収入が得られたか	貸館については、利用促進PRを積極的に進める。 コワーキングスペースはWeb広告にて周知を図る。また、自主事業として各種講座計画を増やし、利用増加へつなげる。 令和6年度は新たな訓練(幅広い職業訓練)を計画・実施し、新たな利用層を獲得する。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	34 (50)	パソコン講座で再就職応援プランを作成するなど、受講しやすい環境の提供が図れている。 利用状況に大きな影響を与える公共職業訓練(3か月訓練)をはじめ、多くの企画講座を実施し、公共職業訓練については、新たに2コースが増加した。また、女性のための就職支援セミナー&パソコン講座も受講者は増加し、センター自主事業で企画した講座での利用者はどれも増加した。 唯一、認定訓練普通課程が減少したが、訓練生数の増減によるものととらえる。 全体利用者数は増えたものの、利用料が微減であった。利用人数の増加は利用制限の撤廃が要因と考えられる。
(2) 財務の視点	14 (25)	
(3) 業務の視点	33 (45)	
(4) 人材の視点	14 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		500,000		
差 額		△ 500,000		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和5年度
施設名称	中野市まちなか交流の家						
指定管理者	なつちよ合同会社			指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)		
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市まちなか交流の家条例						
施設設置目的	土人形の振興を通じて市街地の活性化に資するため、まちなか交流の家を設置する						
施設概要	体験室、焼窯室、トイレ、台所、事務室、倉庫						
施設の主な実施事業	施設の管理運営、土人形の絵付け指導、指定管理者による自主事業(施設内絵付け体験事業、出張絵付け体験事業、土人形制作販売及び付随品の販売、中野土人形販売)						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	来館者数(人)			1,899	1,039	182.8%	
	絵付け体験者数(人)			1,827	1,653	110.5%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	8,738,480	市収入額	0
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	8,592,659	8,738,480	△ 145,821	8,596,362	8,819,619	△ 223,257
	自主事業	2,084,499	2,030,000	54,499	2,384,650	2,192,277	192,373
	合 計	10,677,158	10,768,480	△ 91,322	10,981,012	11,011,896	△ 30,884
職員の配置状況	職員:3名(常勤) 他に施設長1名(非常勤)、副施設長1名(非常勤)、防火管理者1名(非常勤)						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年7月10日	二回目	令和5年12月8日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
■土人形の振興について 奈良家、西原家の土人形をイラストにして缶バッジを作成販売し、信州中野の土人形をPRする。 市内小学校(クラブ活動)での絵付け体験を通して、地域資源である土人形を知ってもらい、次世代へ継承を図る。 令和4年度:2校 → 令和5年度:3校	→	奈良家、西原家の土人形をイラストにして缶バッジ制作販売し、PR及び普及に努めた。 また、絵付け体験では市内3小学校に加え市外小学校にも体験してもらい認知度上に努めた。
■市街地の活性化 地元中町区との連携を強化し、災害時などの対応などの話し合いを持つ。	→	中町区と会合まではいかなかったが、役員との情報交換や情報共有は密に行うことができた。 また、来館者数は昨年度比182%であり、集客による市街地活性化につながった。
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 お忙しい年末にもかかわらず、優しく丁寧に指導していただき ありがとうございます 久しぶりに集中して楽しい時間を過ごす事が出来ました また来館させていただきます。	→	引き続きサービス向上に努める
【苦情・改善の要望】 なし	→	

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	積極的に絵付け体験をPRしたことで絵付け体験者及び来館者が増加し、昨年度比182%と大きく増加した。	36
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	7	創作土人形の制作(団体や企業のマスコット制作含)のほか、小学校のクラブ活動などへの出張絵付け体験や奈良家の指導を受け、技術向上及び地域資源の普及に努めたため利用者満足度が90%得られている。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	苦情はなく、来館者に楽しんでもらうことを第一に考え運営できた。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	土人形の振興を目的に利用者目線で出張絵付け体験等積極的にPRできた。実際に収入も予算対比114%と伸びている。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	4	来館者及び出張絵付け体験が増えたことにより、予算対比114%と計画以上の収入が得られた。	19
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	積極的な絵付け体験の普及と自宅でも気軽に絵付け体験ができる「絵具セット」の販売により効果が得られた。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	施設のLED化の継続により、光熱費削減に取り組んでいる。(昨年度実績比19%減)	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	関係法令に従い顧問税理士(公認会計士)による指導を受け適正な会計管理が行われている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		35
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	5	利用者へのアンケート調査の電子化に加え、SNSでの広報活動に行い、絵付け体験者及び来館者が昨年度比182%となる等大きな効果を得た。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	改善指示はなく、来館者に楽しんでもらうことを第一に考え運営できた。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	防犯カメラの使用や緊急時の対応についての研修を行い、職員間の連絡調整が構築できているため、能登半島地震の際の施設確認が迅速に行えた。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	5	来館者駐車場の側溝に不具合があったため修繕を行い事故を未然に防ぐことができた。また、事件の発生もない。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	管理者で行った施設のLED化による光熱費削減及びアンケートのデジタル化により紙の削減に取り組んでいる。	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	奈良氏による絵付け指導を年6回受け、スキル習得向上に努めた。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	4	新たに就業規則や各種規定を整備し働きやすい環境に努めた。	
				50
				25
				45
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	36 (50)	コロナ開けで積極的に絵付け体験をPRしたことで、多くの方に絵付け体験を楽しんでもらい、体験者及び来館者数の増加へつながった。また、土人形師(奈良家・西原家)からの指導や情報共有も多いことから、職員の技術が向上し、その技術が絵付け体験者への指導につながった。アンケート評価では、「優しく丁寧」、「集中できた」、「居心地が良い」等の感想が多く、全体をとおしての評価は良好である。 本施設は、土人形の振興を通じた市街地の活性化を設置目的としているため、今後は、絵付け体験者の集客による市街地活性化だけではなく、施設を拠点にまちなかでの交流を通じたイベントの開催等での賑わいを期待したい。
(2) 財務の視点	19 (25)	
(3) 業務の視点	35 (45)	
(4) 人材の視点	14 (20)	
年度評価	B+	
良 好		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	1F窯灯油漏れ	3,300	0	経年劣化のため
	1F洗面室ドア	2,000	0	経年劣化のため
	駐車場側溝	55,000	0	グレーチングに傾きがあり来館者に支障をきたしていたため
	合 計	60,300	0	
	指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1	300,000		
差 額		△ 239,700		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和5年度
施設名称	中野市関係人口創出拠点施設						
指定管理者	中野市リビングシフト促進共同事業体 代表者 株式会社 リープクリエイティブス			指定期間	令和3年10月1日～令和7年3月31日		
根拠法令							
設置条例	中野市関係人口創出拠点施設条例						
施設設置目的	関係人口の創出・拡大を通して地域社会の活性化に資すること。						
施設概要	交流スペース、コワーキングスペース・レンタルオフィス、多目的ルーム(宿泊、オフィス利用)						
施設の主な実施事業	貸しスペース事業・飲食店運営事業、宿泊事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	チャレンジショップ・フリースペース利用者数 (人)			6,777	4,335	156.3%	
	宿泊者利用数 (人)			871	721	120.8%	
	コワーキング・レンタルオフィス利用者 (人)			73	22	331.8%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	1,760,000	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	8,060,080	6,360,000	1,700,080	8,596,758	4,125,284	4,471,474
	自主事業	3,579,370	2,200,000	1,379,370	7,720,862	4,544,085	3,176,777
	合 計	11,639,450	8,560,000	3,079,450	16,317,620	8,669,369	7,648,251
職員の配置状況	責任者1名、清掃員1名 計2名						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年4月7日	二回目	令和5年10月12日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・チャレンジショップのラーメン企画が毎回楽しみ ・客室のベッドがとても良い	→	・ラーメンの企画を増やす計画がある ・客室の居心地改善を実装していきたい
【苦情・改善の要望】 ・駐車場の位置がわかりづらい	→	・駐車場看板の設置を決定した。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	施設全体で前年度比152%増であった。	42
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	10	目標値5000人に対し、6777人の利用があった。	
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	7	苦情・要望を受け、客室の防音・防寒対策を実施した。また、駐車場看板の設置を決定した。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	10	定期的に自主事業を実施し、利用者数の増とリピーターを獲得できた。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	5	計画比173%の収入であった。	22
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	5	集客のあるイベント、ラーメン企画が多くの利用者を集めた。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	チェックインシステムの導入により人件費が抑えられた。光熱水費の節約に努め光熱水費が減少した。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	指定管理業務と自主事業の経理区分が適切かつ明確に区分されている	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	稼働率が増す中、故障や紛失なく管理できている。	
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	客室の防音、防寒改修を行った。	34
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めたとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	5	専用タブレット端末を使用したセルフチェックインシステムの導入	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	5	改善指示はなく、運営状況は適切であった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	チャレンジジョブ(自主事業)の実施により、職業的スキルの向上や起業に必要な技能確保に寄与した。(「4質の高い教育をみんなに」に該当)	
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		12
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				50
				25
				45
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	42 (50)	指定管理業務、自主事業ともに施設利用者の要望に対して適切かつ柔軟に対応し、利用者の増につながった。 指定管理業務においては、利用者のニーズに応じて、客室の防音、防寒対策を行ったことを評価する。宿泊利用者増の結果につながったと考える。 自主事業においては、飲食業を中心としたチャレンジショップを随時実施するなど、施設の利用促進、地域活性化に資する活動に取り組んでいた。 また、コワーキングスペースにおいても貸し出し方法に工夫を凝らすなど、利用者のニーズを捉え、コロナ後でも引き続き利用者が増えたことを評価する。 取り組みの結果として、施設全体での利用者が前年度比152%増につながっていると見える。
(2) 財務の視点	22 (25)	
(3) 業務の視点	34 (45)	
(4) 人材の視点	12 (20)	
年度評価	A	
優 良		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		300,000		
差 額		△ 300,000		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	購入なし			
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		300,000		
差 額		△ 300,000		

修繕費・備品購入費の
過不足についての考え

上限額を超える場合は、基本協定書に基づき対応する。

指定管理者事業評価 年度評価調査書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和5年度
施設名称	中野市豊田ふるさと交流館						
指定管理者	株式会社 斑尾			指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		
根拠法令	地方自治法						
設置条例	中野市豊田ふるさと交流館条例						
施設設置目的	市民の世代間、地域づくり団体等の交流の中核施設として活用を図り、都市住民との交流の促進及び文化及び経済の向上を目指し、地域社会の活性化に資することを目的として、交流館を設置する。						
施設概要	道の駅、交流館、特産品販売コーナー、農産物直売所、トイレ						
施設の主な実施事業	道の駅、交流館、特産品販売コーナー、農産物直売所、食堂						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	総合計(人)			190,359	178,939	106.4%	
	①食堂客数(人)			60,765	50,102	121.3%	
	②売店客数(人)			38,342	38,986	98.3%	
	③農産物直売所客数(人)			91,252	89,851	101.6%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	5,563,588	市収入額	0	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	6,380,118	3,167,588	3,212,530	6,380,118	5,563,588	816,530
	自主事業	121,500,000	119,180,000	2,320,000	128,130,612	126,250,289	1,880,323
合 計	127,880,118	122,347,588	5,532,530	134,510,730	131,813,877	2,696,853	
職員の配置状況	支配人(防火管理者)1名、受付庶務1名、料理長1名、調理補助5名、売店2名、直売所4名 合計14名						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年5月11日	二回目	令和6年3月5日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
アンケート等より、利用者ニーズを把握しながら自主事業を展開していく。	→	アンケート結果をもとに、特に食堂事業において、提供スピードや回転率向上のため、機器導入等により改善を行った。
イベント等の開催実施を図り、増収につなげるように指導していく。	→	季節に合わせたイベントを実施してもらい、自主事業の収入増(前年度比106%増)となった。
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
1. 売店 ・品揃えが良い。 ・地元をはじめ近隣地域の特産品がある。 ・ここにくれば必ず入手できる。 2. 食堂 ・地元産の青果を生かした料理、特に蕎麦がおいしい。 3. 直売所 ・農産物生産にあたり自然環境に恵まれた地域であり特にリンゴ、ブドウなどの果実は絶品である。	→	1. 売店 ・在庫管理の徹底化をしている。 ・近隣北信地域8施設ある「道の駅」へのリサーチを行い、良い所を取り入れている。 2. 食堂 ・社員6名・シフト制に基づいて事業を行っているが6名全員が最高レベルの味を提供できるよう技術指導等を行っている。 3. 直売所 ・果実の出荷時期に合わせたイベントを実施している。
【苦情・改善の要望】 食堂事業については特にクレームが多い 1. 食券販売に於いて1万円・5千円が使えない為、売店のレジにて両替をしなければならない。 2. 利用客の増加に伴い注文に間に合わず提供時間がかかりすぎる。 3. 食堂が狭すぎる。	→	1. すぐに機器の入替えができないため、売店レジでの両替対応を継続している。 2. 厨房の利用者の導線を改善した。 3. ハード面の問題のため、市と改修等の検討を続けている。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	前年度比106%増	25
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	5		
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3	計画比94%	17
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	5	年度4回の監査及び担当税理士にチェックを受けている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		33
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	5	避難訓練、通報訓練、消火訓練、AED訓練を実施した。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	2	年度報告の遅滞があった。	
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	QRコードでのアンケート実施や、paypay決済を導入している。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	3		
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	4	避難訓練、通報訓練、消火訓練、AED訓練の実施に加え、マニュアルの整備がされている。	
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故はなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	4	マニュアルを整備している。管理責任者をおき、また従業員とは個人情報保護の誓約を締結及び講習会を実施している。	
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	4	食品ロス削減のため、食材を余すことなく使用する工夫をしたり、生産者と協力をし、売れ残り品や不要な農産物等を被災地支援のため寄附を行った。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	年3回の人事考課の実施をしている。また、随時管理職会議または学習会を実施している。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	4	労使協定を締結及び労働時間の管理徹底をしている。	
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
③ ③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	決算時期であったことや業務担当が変更となったことで遅延したとのことだが、計画的に作成をするように指導する。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	25 (50)	新型コロナウイルス感染症対策としての行動制限の緩和に伴う社会活動の正常化により、個人消費等の回復が見られたことから、利用者数(前年度比106%増)が増加し、自主事業売上(前年度比106%増)も好調であり増収増益となった。 引き続き自主事業の売上ドライバーの分析をしてもらうことに加え、施設ハード面の課題については、可能な範囲で相互に最善策を模索していきたい。
(2) 財務の視点	17 (25)	
(3) 業務の視点	33 (45)	
(4) 人材の視点	14 (20)	
年度評価	B	
要一部改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	浄化槽蓋	178,200	0	正常な稼働の為
	合 計	178,200	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		1,100,000		
差 額		△ 921,800		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の
過不足についての考え

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	経済部 商工観光課	評価対象年度	令和5年度	
施設名称	中野市ふるさと交流拠点施設							
指定管理者	一般財団法人 信州なかの産業・観光公社		指定期間	令和5年10月1日～令和10年3月31日(4年6ヵ月間)				
根拠法令	地方自治法							
設置条例	中野市ふるさと交流拠点施設条例							
施設設置目的	スポーツ・遊び・健康増進を通じた地域の世代間交流を図り、継続的・安定的・発展的な事業の推進							
施設概要	アリーナ：鉄筋コンクリート2階建、グラウンド、芝生広場、駐車場、トイレ棟、事務室							
施設の主な実施事業	拠点施設の利用許可、効用を増加させる自主事業、管理運営事業							
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)		
	利用者数	新規施設のため、計画比		2,956	3,000	98.5%		
						0.0%		
						0.0%		
						0.0%		
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	4,000,000	市収入額	33,465		
	項 目	予算額			決算額			
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支	
		指定管理業務	4,330,000	4,330,000	0	4,330,001	4,611,333	△ 281,332
		自主事業	40,000	40,000	0	74,164	14,962	59,202
	合 計	4,370,000	4,370,000	0	4,404,165	4,626,295	△ 222,130	
職員の配置状況	館長:1名、事務員:1名 計2名							
所管課による現地調査実施日	一回目	令和6年2月26日	二回目	年 月 日				

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ・今まで陸上の練習には長野市まで行っていたが、近くに施設ができありがたい。	→	・引き続き、利用者の期待に応えられるような施設の運営を心掛ける
【苦情・改善の要望】 ・照明が暗い。 ・年間パスを作成してほしい。 ・早朝、夜間(水・金曜日以外)も営業してほしい。	→	・照明は市で改善予定 ・料金、営業時間は今後市と協議する

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	5	新規施設のため、計画比	19
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	2	除雪の対応不足や積雪による使用不可の周知の遅れがあり、苦情につながった。	
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	2	陸上競技関連の自主事業が実施されなかった。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		16
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	4	税理士の指導を受け、適正に会計処理が行われている。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		28
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	アンケートの電子化、電子決済を導入した。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	2	秋季、冬季におけるグラウンドを利用した自主事業を実施するよう指示したが、実施されなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	4	事件・事故の発生はなく。運営は適正である。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	3		
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		11
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	2	施設管理に必要なスキルを有した職員の配置がなかった。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1) ③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	利用者が希望する範囲の除雪を遅延なく行うこと、除雪が困難で使用不可となる際は、ホームページでの周知の外、利用予定者を把握している際は直接連絡する等、周知を徹底するよう指導した。
(1) ④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	グラウンドを生かした陸上競技関連イベントや、冬季間は、積雪を生かしたイベントを実施するよう指導した。
(3) ⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	計画的に年間のイベントスケジュールを組み、設置目的に合致した自主事業を実施するよう指導した。
(4) ② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	グラウンド、アリーナで利用できる各種競技について、必要最低限の知識は身に着けるよう指導した。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	19 (50)	陸上競技関係者への営業活動を行い利用促進に努めていた。 夜間照明が暗く、利用困難な状態であったが、移動式の照明を設置し、夜間の利用促進に努めていた。 新たな施設で利用状況が予測できないこと、10月のオープン後、数ヶ月で冬季間に入ってしまう等の厳しい状況ではあったが、グラウンドを生かしたイベント、積雪を生かしたイベント等が実施されなかったため、次年度は計画的に年間のイベントスケジュールを組み、設置目的に合致した自主事業の充実、また、軽食や飲料水、スポーツグッズ等の販売を行い、利用者の利便性の向上及び収益を上げる取り組みに期待したい。
(2) 財務の視点	16 (25)	
(3) 業務の視点	28 (45)	
(4) 人材の視点	11 (20)	
年度評価	B-	
要改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	凍結防止バルブ修繕	46,600		
	消費税	4,660		
	合 計	51,260	0	
	指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1			
差 額		51,260		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	
--------------------------	--

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	建設水道部 都市建設課	評価対象年度	令和5年度
施設名称	一本木公園ほか2施設						
指定管理者	一般社団法人 一本木公園バラの会			指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)		
根拠法令	都市公園法						
設置条例	中野市都市公園条例、中野市一本木公園施設条例						
施設設置目的	公共の福祉の増進に資するため						
施設概要	一本木公園:多目的広場、修景広場、野外ステージ、遊戯広場、林間プロムナード、あずまや(全体面積:3.4ha) 一本木公園展示館、一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム						
施設の主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	(総計)			41,836	23,993	174.4%	
	一本木公園展示館来館者数(人)			18,658	11,719	159.2%	
	一本木公園中野小学校旧校舎・信州中野銅石版画ミュージアム来館者数(人)			23,178	12,274	188.8%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	不採用		指定管理料額	31,100,000	市収入額	54,740
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	35,087,120	33,060,000	2,027,120	33,321,160	31,156,818	2,164,342
	自主事業	7,998,178	6,520,000	1,478,178	6,866,905	7,806,904	△ 939,999
合 計	43,085,298	39,580,000	3,505,298	40,188,065	38,963,722	1,224,343	
職員の配置状況	事務局員3名、管理作業員12名 計15名						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和6年6月23日	二回目	令和6年2月21日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 ①公園＝バラの種類がたくさんあってよい ②旧校舎がステキでした。保存状態もとてもよかったです。	→	①黒岩喜久雄氏が寄贈した歴史ある株を次世代に継承しつつ、枯れ株は毎年更新、また病気に強い品種に植え替えるなど850種3000株の水準を保っている。また、つるバラの仕立てなど魅せる植栽を日々研鑽し、来園者を歓迎している。 ②コロナ収束後、イベント活用や撮影などに活用される件数が増え、旧校舎がさらに注目されて来ている。利用と保存は相反するものだが、文化財である意識を使用者に熟知してもらい有効活用を促したい。
【苦情・改善の要望】 ・バラの名札を全部につけてほしいです。	→	・ネームプレートの設置、修繕は毎年行っているが、積雪や経年劣化による破損が多く、3000株に対して、すべて完全につけることに追いついていないのが現状。耐久性のあるプレートは単価が高く、簡易的なものは劣化が早い。バラがきれいに咲いていると、そのバラの名前が知りたいのは当然の心理なので、来園者サービスとして、1枚でも多くのプレート設置を心がけたい。

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	10	コロナ収束により、イベント開催が再開し、さらに市民企画運営のマルシェ等の会場として注目され、活用されるようになった。	32
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	7	秋の日照不足等により例年行っていた秋のバラまつりやダリアの球根販売会が中止となってしまったが、新たな自主事業を実施するなど、四季折々に適したイベントを開催した。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	3		19
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	4	電気料や資材費が高騰する中、人件費他諸支出経費を抑え、健全な運営を行った。	
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	4	公園内樹木管理等に伴う処分費を低減する取組み等を行い、それに伴い諸支出経費を抑えることができた。	
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	5	税理士の指導を受け、適正に会計処理を行った。	
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	3		
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	4	園内施設についても、点検・清掃・修繕等を確実にし、利用者アンケートからも保存状態がとてよい、との評価が得られた。	35
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	4	例年と比較しより多くの研修を行うとともに、バラの研修視察を実施し、職員の資質を高めることができた。	
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	4	利用者アンケートのデジタル化への対応を新たに行った。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	期待以上の管理がされており、市からの改善指導等がなかった。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	5	目視のみならず、樹木医による樹木診断を行うことにより倒木の発生を防ぐなど、適切な保全対策がされており、事件・事故は発生しなかった。	
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	5	従来、費用をかけ処分していた園内の落ち葉を利用した落ち葉の頒布会を新たに実施し、市民から配布希望の問い合わせが増える等の反響があった。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	3		14
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	4	基準以上の管理作業員を配置し、県内外からの観覧者が訪れる園内バラの水準を保っている。	
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	4	管理作業員を対象にバラ管理の意識を高めるための研修を自主的に行った。	
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	32 (50)	高温少雨の異常気象に伴う秋バラの育生不足により、秋のバラまつりを中止する事態となったが、駐車場が整備されたことにより、大規模なマルシェなどのイベントが開催されるようになり、その相乗効果で施設来館者数の増に繋がった。 また、電気料や資材費が高騰する中、人件費等を自助努力により削減し、健全な運営がなされた。
(2) 財務の視点	19 (25)	
(3) 業務の視点	35 (45)	
(4) 人材の視点	14 (20)	
年度評価	B+	
良 好		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	西側男子トイレ詰まり修繕	4,400		突発的な詰まりが生じたため
	東側トイレ修理	44,220		異物混入による詰まりが生じたため
	事務所脇外部水栓修理	20,570		蛇口取っ手不良が生じたため
	西側トイレベビーチェア交換施工	88,000		経年劣化による破損のため
	ベンチ修理	7,700		経年劣化による破損のため
	カーテン部材修理	5,500		経年劣化による破損のため
	消火器取り換え業務	130,220		使用期限切れのため
	合 計	300,610	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		300,000		
差 額		610		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	購入なし			
	合 計	0	0	
事業計画書に定める備品購入費の額				
差 額		0		

修繕費・備品購入費 の 過不足についての考え	修繕費は30万円を予算計上し支出。迅速な修繕が必要な案件を最優先に対応し、緊急性の低い修繕は応急処置を施し、予算を鑑みて適切に支出していると考えます。
---------------------------	---

指定管理者事業評価 年度評価調書

1 施設状況・事業収支				所管部課	建設水道部 都市建設課	評価対象年度	令和5年度
施設名称	北信濃ふるさとの森文化公園						
指定管理者	株式会社 岩野商会			指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
根拠法令	都市公園法						
設置条例	中野市都市公園条例、中野市文化公園施設条例						
施設設置目的	地域住民の文化活動の充実と地域文化の向上を図るため						
施設概要	温室・昆虫館、サマーボブスレー、遊具、マレットゴルフ場、オートキャンプ場、多目的グラウンドほか						
施設の主な実施事業	施設及び設備の維持管理業務、施設における行為の許可に関する業務及び自主事業						
施設利用状況	利用区分等(単位)			令和5年度実績(A)	令和4年度実績(B)	比較(A)/(B)	
	全施設利用人数(人)			26,242	32,378	81.0%	
	全施設使用料金(円)			4,006,575	4,567,300	87.7%	
						0.0%	
						0.0%	
事業収支 (単位:円)	利用料金制	採用(指定管理料あり)	指定管理料額	27,498,500	市収入額	7,050	
	項 目	予算額			決算額		
		収 入	支 出	収 支	収 入	支 出	収 支
	指定管理業務	36,369,125	32,562,000	3,807,125	31,505,075	32,799,598	△ 1,294,523
	自主事業	14,569,875	12,000,000	2,569,875	1,024,610	426,637	597,973
	合 計	50,939,000	44,562,000	6,377,000	32,529,685	33,226,235	△ 696,550
職員の配置状況	施設長(支配人)1名、副施設長(副支配人)1名、常勤職員1名、パート社員4名 計7名						
所管課による現地調査実施日	一回目	令和5年7月26日	二回目	令和5年11月29日			

2 改善取り組み状況

管理運営改善状況等報告書	→	実施状況・結果
	→	
	→	
	→	
	→	

3 利用者ニーズへの取り組み

アンケート等利用者からの意見	→	対応状況
【良好とする評価】 特になし	→	
【苦情・改善の要望】 特になし	→	

4 事業の実施状況

区 分	評価内容	判定	判定理由または特記事項を記入	区分得点
(1) 市民の視点	① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	2	前年度比81%であった。	19
	② 利用者意見の収集に努め、ニーズに合わせたサービス向上策を実施し、利用者の満足度が向上したか。	5		
	③ 苦情・要望に対する回答は迅速で、利用者への対応・接遇が適切であったか	5		
	④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	2	指定管理者指定申請書や事業計画書で計画していた規模の自主事業を実施することができなかったが、前指定管理者の自主事業を継承するとともに、協賛金事業やマレットゴルフ大会など新たな自主事業を実施した。	
	⑤ 情報公開の規程を設け、情報を適切に開示できる体制となっているか	5		
				50
(2) 財務の視点	① 計画どおり収入が得られたか	2	計画比88.8%の収入であった。	15
	② 収入を増加するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	③ 管理運営経費を低減するための取組みがなされ、その効果があったか	3		
	④ 指定管理業務と自主事業の経理区分が明確で適切に管理されているか	3		
	⑤ 備品の管理は備品台帳と照合し、適正な管理に努めたか	4	期間を設けて備品台帳との現地照合を行うなど、適正な管理に努めた。	
				25
(3) 業務の視点	① 施設の維持管理(保守・清掃・設備等)業務の実施及び法令を遵守したか	3		32
	② 施設の管理運営に必要な研修を仕様書に定めるとおり実施したか	3		
	③ 毎月・年度等の業務の報告は、遅滞なく行ったか	3		
	④ デジタル化への対応を行ったか	5	利用者アンケートのデジタル化への対応を行った。また、オートキャンプ場の予約を電話受付の他、HPからのネット予約を可能にし、利用者が昨年度比21.9%増、過去5年で最多利用者数となった。	
	⑤ 市から改善指示がなかった。改善指示があったときは、速やかに対応したか	4	HPの編集、施設修繕等速やかに対応した。	
	⑥ 防災等訓練の実施、緊急連絡網と危機管理マニュアルの整備を行ったか	3		
	⑦ 事件・事故は発生しなかった。事件・事故発生時の対応は適切に対応したか	3		
	⑧ 個人情報保護の責任者、保管方法、漏えい時の対応方針を整えたか	3		
	⑨ SDGsを推進する取組を行ったか	5	伐採した枯損木を薪にして販売し収入につなげる等の取組を行い、来園者サービスの向上に努めた。	
				45
(4) 人材の視点	① 基本協定書に定める責任者(職員)を配置しているか	4	次年度の引継ぎを見据え、副施設長を1名増員し配置した。	13
	② 業務に必要な職員を適切な場所に配置しているか	3		
	③ 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得向上を目的とした職員研修を行ったか	3		
	④ 労働関係法令を遵守したか	3		
				20

5 改善指導方針

「2」または「1」判定評価内容	改善指導方針又は状況
(1) ① 施設の利用者数は前年に比べて増加したか	一部多目的グラウンドの工事による閉鎖期間等による利用者減もあったと思われるが、新年度は新たな施設の運用も開始されることから、他施設も含めた施設の利便性を高め、公園利用者増加に努めたい。
(1) ④ 利用者ニーズを把握し、設置目的に合致した自主事業を実施したか	当年度の自主事業時に回収できたアンケート意見をもとに、来園者ニーズを活かした積極的な自主事業の実施を行いたい。
(2) ① 計画どおり収入が得られたか	当初予定していない減免による収入減もあったが、利用者ニーズに応じた自主事業の実施、HPを利用した施設のPR等により収入の増につなげたい。

6 総合評価及び所見

評価区分	得点 (満点)	施設所管課 所見
(1) 市民の視点	19 (50)	事業者が更新した初年度ということで、手探りの運営であり、積極的な運営がなされていないことが否めない。その結果として、自主事業を含め、指定管理業務全般の成果が求めている期待を下回った。 次年度から、民間企業ならではのノウハウを活かした運営により、魅力ある公園づくりに努め、来園者増に繋げることに期待する。
(2) 財務の視点	15 (25)	
(3) 業務の視点	32 (45)	
(4) 人材の視点	13 (20)	
年度評価	B-	
要改善		

7 支出確認事項

(1) 修繕費

修繕費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	サマーボブスレー乗り場及び 屋外トイレ 水栓類修繕	206,140		水栓類の漏水のため
	マレットゴルフ駐車場 階段修繕	228,800		経年劣化により損傷した
	昆虫館火災受信機修繕	28,600		点検の結果、不都合が認められた
	マレットゴルフ場コース修繕	424,116		経年劣化により損傷した
	サマーボブスレー 駆動ローラー修繕	273,900		点検の結果、不都合が認められた
	除雪機、草刈り機等修繕	407,755		経年劣化により損傷した
	マレットゴルフ場事務所ドア修繕	26,400		経年劣化により損傷した
	合 計	1,595,711	0	
指定管理者が負う修繕費 上限額 ※1		1,000,000		
差 額		595,711		

※1 運用指針の改正後に基本協定を締結した施設については、事業計画書に定める修繕費の額を記入する。

(2) 備品購入費

備品 購入費 (円)	支出内訳	支 出 額	計 画 額	計画外に備品を購入した理由を記入
	事務機器、公園整備機器等	1,549,922		前指定管理業務の一部を継承したため
	ウッドデッキ、看板等	2,082,300		前指定管理業務の一部を継承したため
	合 計	3,632,222	0	
事業計画書に定める備品購入費の額		1,000,000		
差 額		2,632,222		

修繕費・備品購入費の 過不足についての考え	修繕費については、施設全体の劣化が著しく、今後も不足することが予想されるため、事前の保全を行い、施設の長寿命化に努める。また、備品購入費については、当初の見込みが甘く不足したが、今後は適正化を図る。
--------------------------	---